

第3次白鷹町男女共同参画計画

令和8年度～令和17年度

令和8年3月

山形県白鷹町

目次

第1章 基本的事項	1
第1節 計画の趣旨	1
第2節 計画の位置づけ	1
第3節 計画の期間	1
第4節 計画のスローガン	2
第2章 男女共同参画計画策定に向けて	2
第1節 第2次白鷹町男女共同参画計画の振り返りについて	2
第2節 町民意識調査について	4
第3節 若者アンケートについて（抜粋）	9
第3章 基本方針と施策の展開	12
第1節 政策・方針決定過程への女性の参画拡大に関する事項	12
第2節 教育に関する事項	13
第3節 雇用分野・仕事と生活の調和に関する事項	14
第4節 町民に対するあらゆる暴力の根絶に関する事項	17
第5節 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性の尊重に関する事項	18
第6節 地域に関する事項	18
第7節 防災に関する事項	20
第4章 計画の推進	23
第1節 全庁あげた計画の推進	23
第2節 町民・企業との連携	23
第3節 国・県との連携	23
第4節 女性団体等関係機関との連携	23
参考資料	24

第1章 基本的事項

第1節 計画の趣旨

本町においては、平成13年度に第1次白鷹町男女共同参画計画、平成27年度には第2次白鷹町男女共同参画計画を策定し、男女共同参画社会の実現に向けた施策に取り組んできました。

令和6年度に実施したまちづくりアンケート結果や人口動態を踏まえると、生産年齢人口の確保が急務であり、女性・子育て世代・若者の活躍の推進や定住に向けた取組の強化が必要です。持続可能な人口対策をより総合的かつ効果的に推進するために、第6次白鷹町総合計画における男女共同参画分野を補完する計画を策定します。

第2節 計画の位置づけ

- ・第6次白鷹町総合計画における男女共同参画分野を補完する個別計画です。また、今後予定されている「第7次総合計画」に内容を引き継ぐものとしします。
- ・男女共同参画社会基本法第14条第3項に基づく市町村男女共同参画計画です。
- ・女性の職業生活における活躍の推進に関する法律第6条第2項に基づく市町村推進計画です。
- ・配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律第2条の3第3項に基づく市町村基本計画です。
- ・困難な問題を抱える女性への支援に関する法律第8条第3項に基づく市町村基本計画です。
- ・第3期白鷹町子ども・子育て支援事業計画を反映しています。
- ・第2期白鷹町特定事業主行動計画を反映しています。
- ・白鷹町地域防災計画を反映しています。

第3節 計画の期間

令和8年度から令和17年度までの10年間とします。なお、計画期間中は、適宜、計画に対する実績の検証を行いつつ、計画開始から5年後の令和13年度に中間見直しを行い、必要に応じて本計画の改定を行うも

のとします。

第4節 本計画のスローガン

第6次総合計画の将来像を踏まえ、スローガンを次のとおり設定し、町民、事業者及び行政が連携・協力しながら男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいくものとします。

「ひとりひとりが生き生きと活躍し輝く、未来につながるまち」

第2章 男女共同参画計画策定に向けて

第1節 第2次白鷹町男女共同参画計画の振り返りについて

平成27年度に策定した第2次白鷹町男女共同参画計画で定めた数値目標に対する達成状況は以下のとおりです。

区分	指標項目	対象	計画当初		計画目標		現況		評価
			年度	数値	年度	数値	年度	数値	
3-I 町民ひとりひとりの人権を尊重する意識づくりと	町報による男女共同参画に関する情報発信(回)	平成28年4月号から令和7年10月号まで	H26	0	H28～R7	20	H28～R7	14	B
3-II 町民ひとりひとりがいきいきと働くことのできる環境づくり	男性の育児休業取得率(%)	白鷹町役場職員における男性	H26	—	R7	13	R5	100	A
3-III 町民ひとりひとりが共に手を携え参画するまちづくり	各種審議会、委員会等の女性委員任用率(%)	地方自治法(第202条の3)に基づく審議会等	H26	21.3	R7	40	R7	21.6	C
3-IV 町民ひとりひとりが安全安心な生活ができる仕組みづくり	特定検診の受診率(%)	本町の特定検診の受診率	H26	57.4	R7	60	R5	59.8	A

※評価の基準は、A「達成度80%以上」、B「達成度50%以上80%未満」、C「達成度20%以上50%未満」、D「達成度20%未満」としてしています。

町報による情報発信については、例年6月号にて男女共同参画週間を呼びかけるほか、令和3年度には白鷹町立図書館内に男女共同参画特集コーナーの設置や、男女共同参画に関する川柳を募集するなど社会的な

機運の醸成を図りました。引き続き、町報を活用した情報発信を実施するとともに、公共施設を利用したイベントの開催を行っていきます。

男性の育児休業取得率については、令和5年度実績が100%であり、対象となる職員の全てが育児休業を取得しました。引き続き、育児関連休暇及び介護関連休暇等を取得しやすい環境の整備を実施し、仕事と育児・介護等の両立を推進していきます。

各種審議会等の女性委員任用率については、計画時から0.3ポイント上昇しましたが、目標は達成できませんでした。男女共同参画のまちづくりを進めていくためには、多様な価値観や視点を取り入れていくことが必要です。引き続き、女性委員の就任推進に向けて、全庁挙げて取り組んでいきます。

特定検診の受診率については、計画時から2.4ポイント上昇しましたが、目標には少し及びませんでした。町民が末永く健康で自立した生活を送るために、引き続き、町民の受診率の向上に向けて取り組んでいきます。

第2節 町民意識調査について

第2次白鷹町男女共同参画計画策定時の町民意識調査結果と令和7年度の子育て世代アンケート調査結果を比較し、白鷹町における男女共同参画に関する現状分析を実施しました。

1. 調査概要

◆調査対象：18歳未満の子どもがいる親 816名及び40代以下 184人

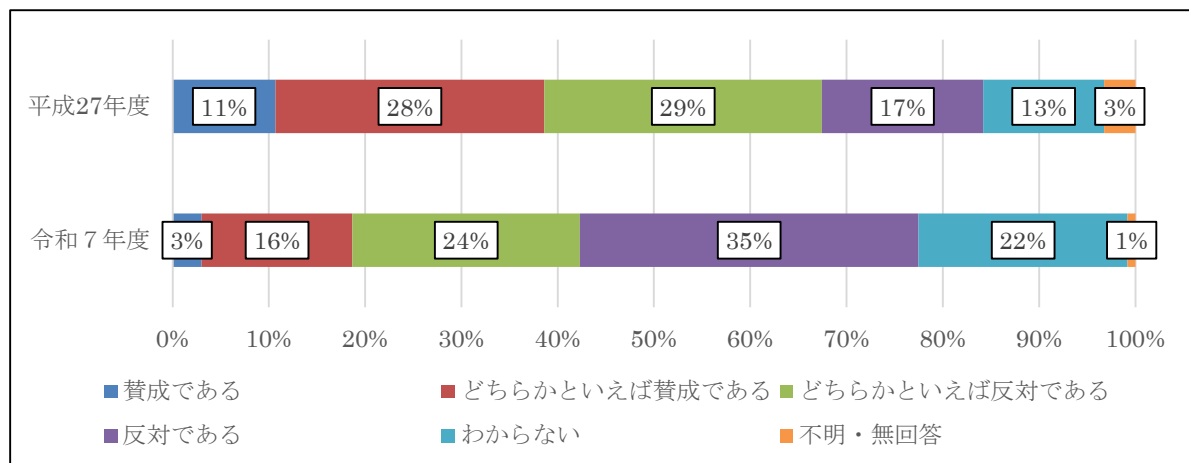
◆調査期間：令和7年9月8日～9月30日

◆回収数：364枚（36.4%）

※前回調査対象：20歳以上の町民 260人、回収数 215枚（82.7%）

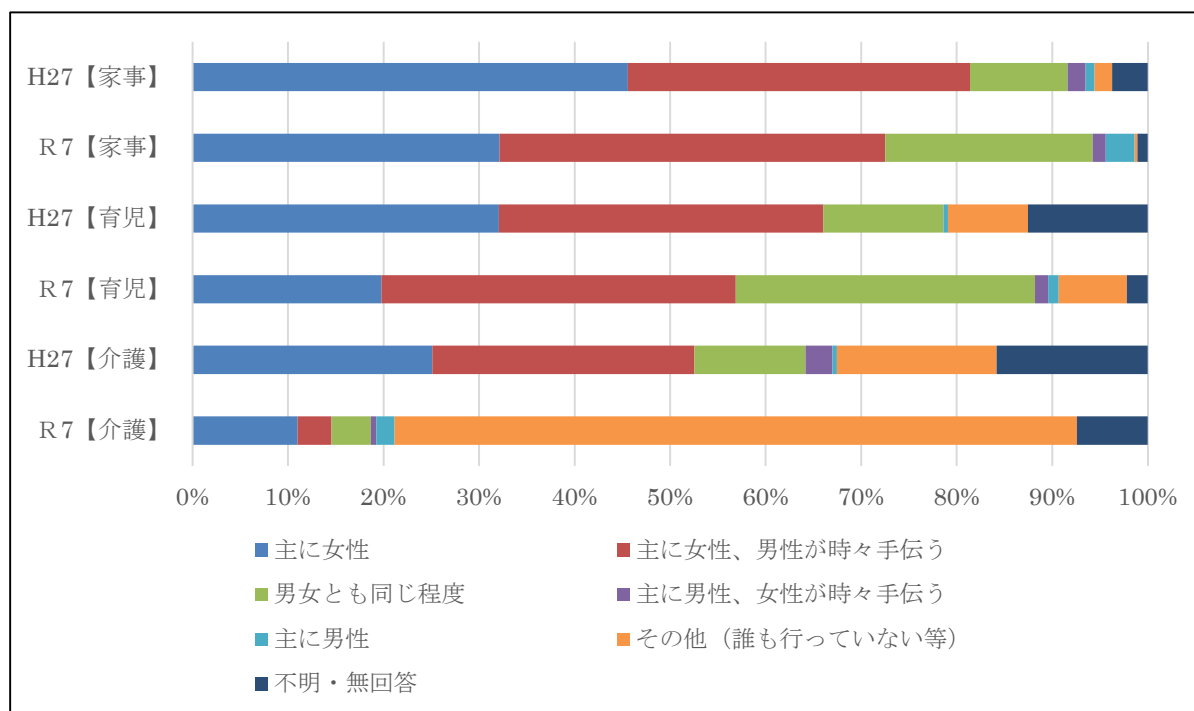
2. 調査結果

◆あなたは、「夫は働き、妻は家庭を守る」という考え方についてどう思いますか。



平成27年度に比べ、「賛成である」・「どちらかといえば賛成である」と回答した割合が10ポイント減少し、「反対である」・「どちらかといえば反対である」と回答した割合が13ポイント上昇したため、町民の固定的な性別役割分担意識は薄まりつつあると考えられます。

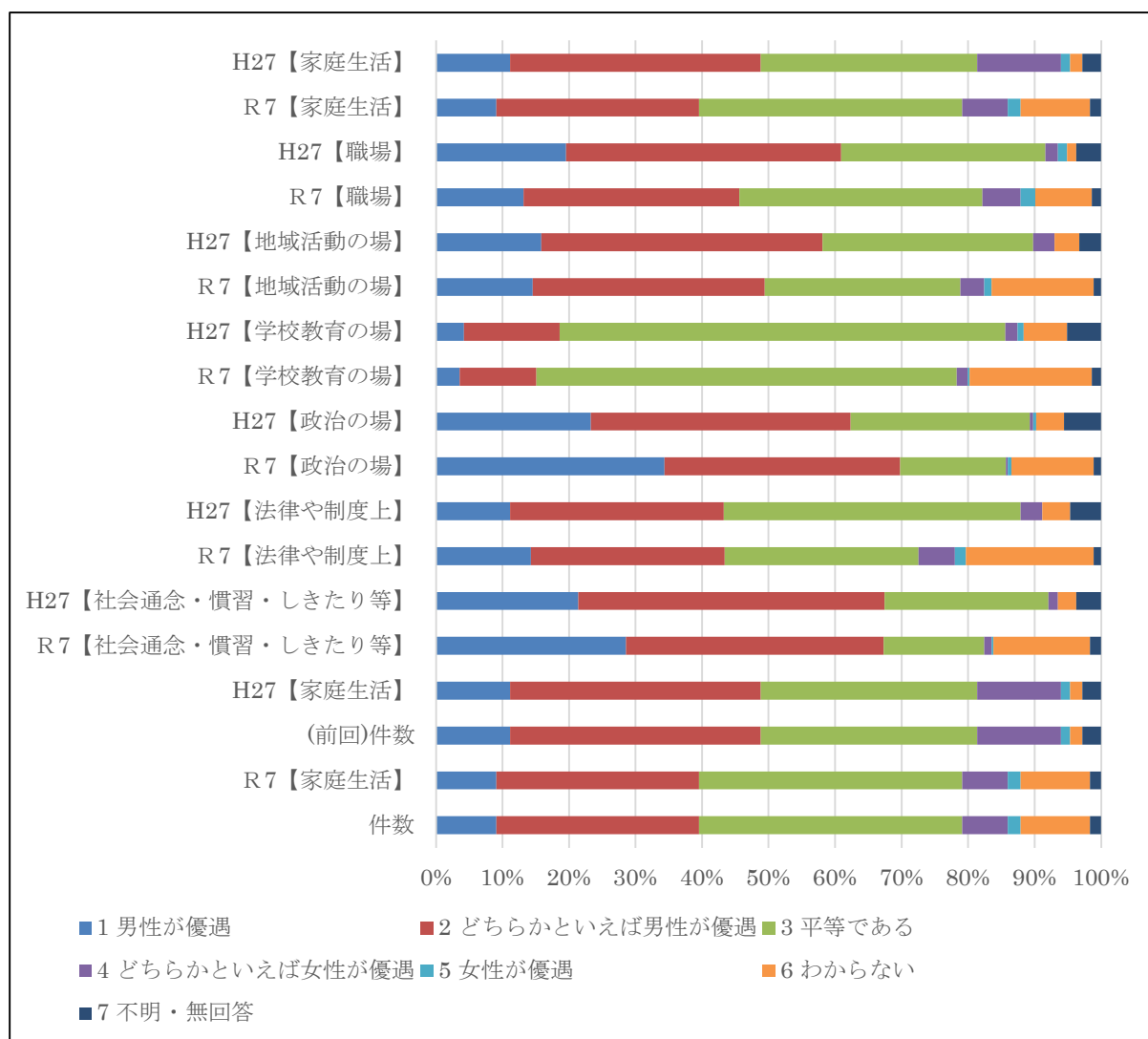
◆あなたの世帯では、誰が家事・育児・介護を行っていますか。



町民の固定的な役割分担意識の薄まりに伴い、どの分野において、「主に女性」・「主に女性、男性が時々手伝う」と回答した割合は減少しており、「男女とも同じ程度」と回答した割合が上昇しています。しかし、家事・育児において、「主に女性」・「主に女性、男性が時々手伝う」と回答した割合が依然 50%を超えており、令和 2 年度国勢調査による白鷹町における共働き率が 67.5%※であることを踏まえると、性別による家庭内の役割分担が未だ根強く残っていると考えられます。

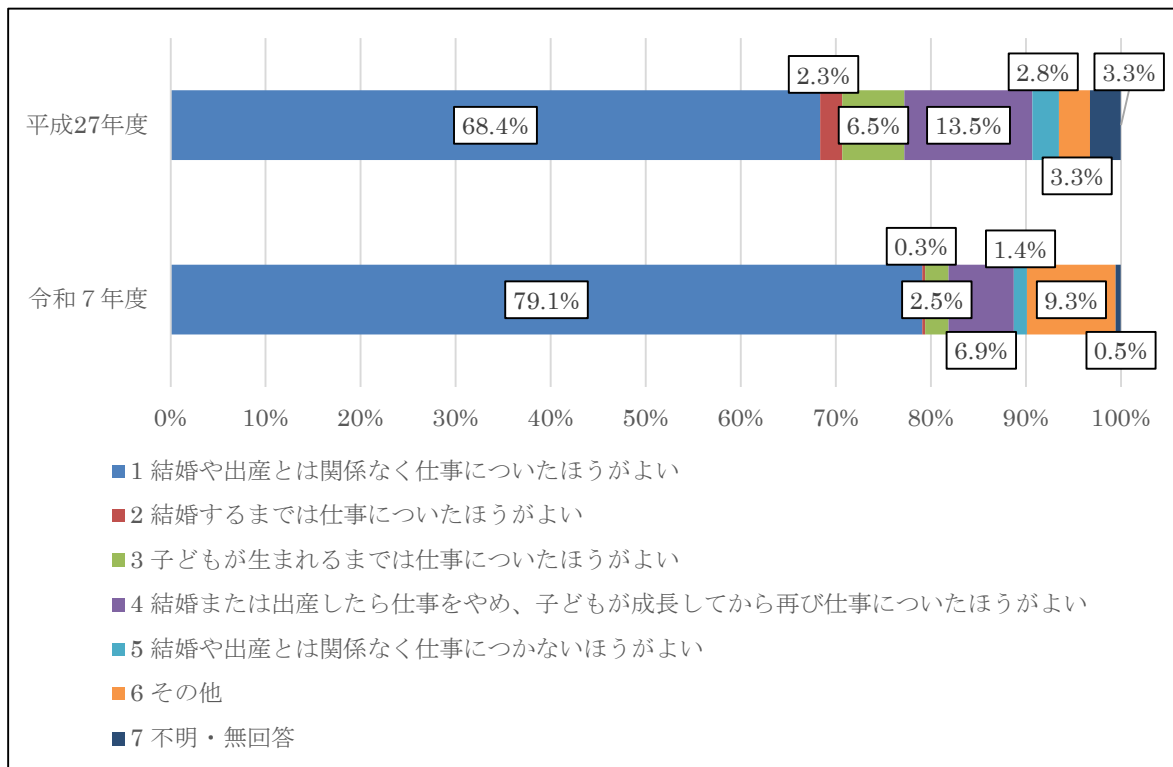
※「有配偶者かつ主に仕事」の回答件数÷「主に仕事」の回答件数。

◆あなたは各分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。



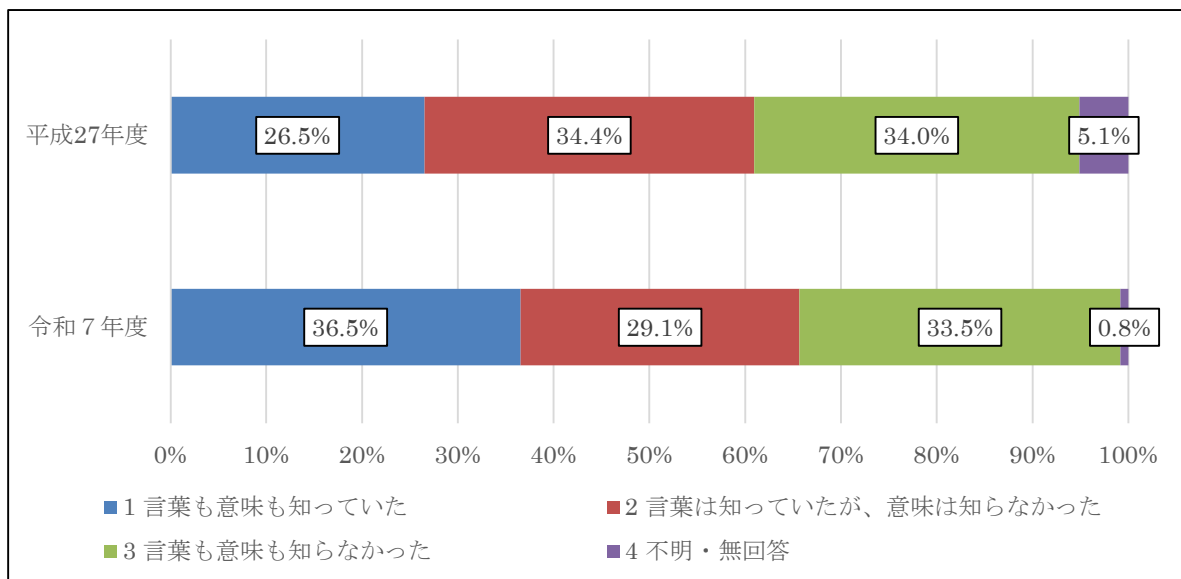
家庭生活及び職場においては、「平等である」と回答した割合がそれぞれ 7.0 ポイント、5.8 ポイント上昇している一方、「政治の場」・「法律や制度上」・「社会通念・慣習・しきたり等」においては、「平等である」と回答した割合がそれぞれ 11.0 ポイント、15.5 ポイント、9.5 ポイント減少し、「男性が優遇」と回答した割合が上昇しています。

◆女性が収入のある仕事につくことについて、どう思いますか。



女性が働くことに対して90%弱が理解を示す一方、全体の1.4%が「結婚や出産とは関係なく仕事につかないほうがよい」と考えています。

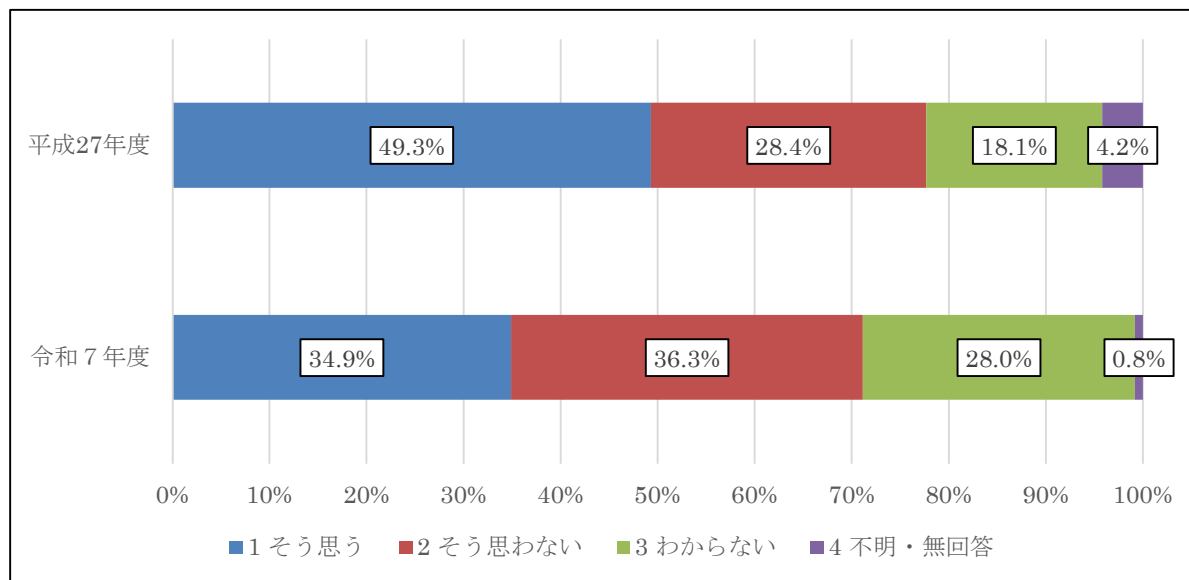
◆ワーク・ライフ・バランス*について知っていましたか。



平成27年度に比べ、「言葉も意味も知っていた」と回答した割合は、10ポイント上昇し、「言葉も意味も知らなかった」と回答した割合

は 0.5 ポイント減少していることから、ワーク・ライフ・バランスという言葉が町民の中に浸透してきたと考えられます。

◆あなたは仕事と家庭・地域生活の間で調和のとれた生活を過ごしていると思いますか。



平成 27 年度と比べ、「そう思う」と回答した割合は 14.4 ポイント減少し、「そう思わない」と回答した割合は 7.9 ポイント上昇していることから、町民ひとりひとりが希望する生活と現実の生活が乖離していると考えられます。

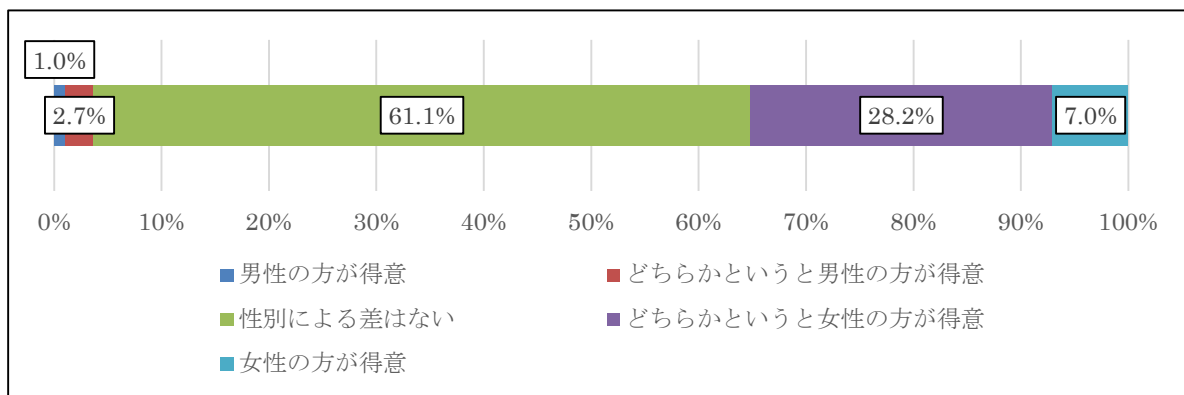
第3節 若者アンケートについて（抜粋）

1. 調査概要

- ◆ 調査対象：15歳以上20歳以下626人
- ◆ 調査機関：令和7年8月15日～9月30日
- ◆ 回収数：298枚（47.6%）

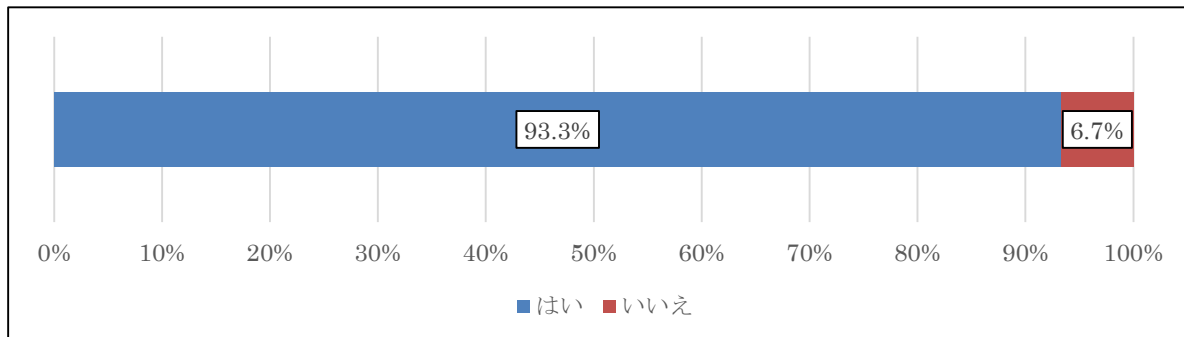
2. 調査結果

- ◆ 育児の得意・不得意について、あなたの考えに当てはまるものをお選びください。

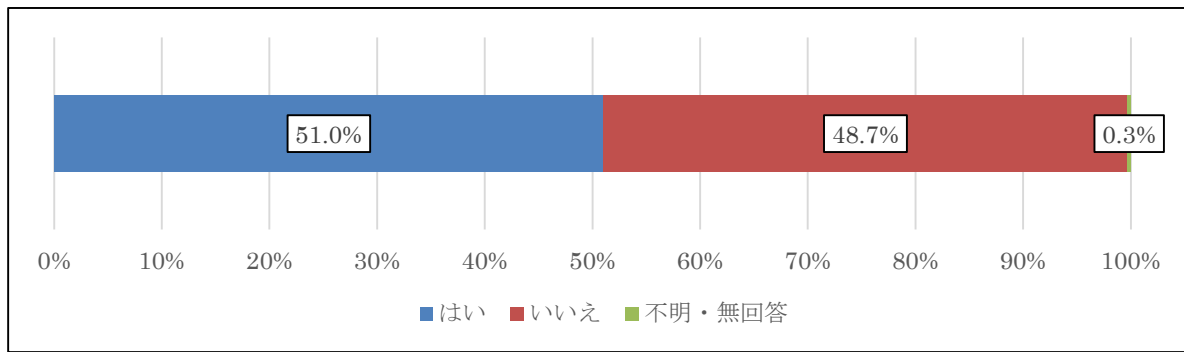


全体の61.1%が「性別による差はない」と回答している一方、全体の35.2%が「どちらかというとな性の方が得意」・「女性の方が得意」と回答しており、若年層においても性別による役割分担意識が未だ根強く残っていると考えられます。

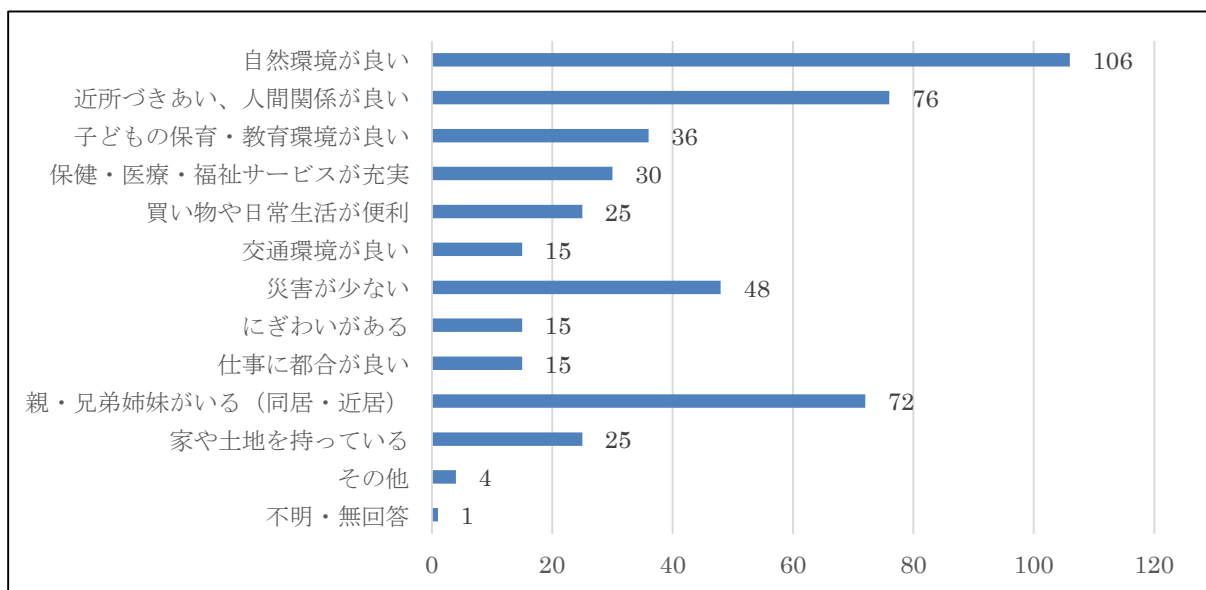
- ◆ 白鷹町は好きですか。



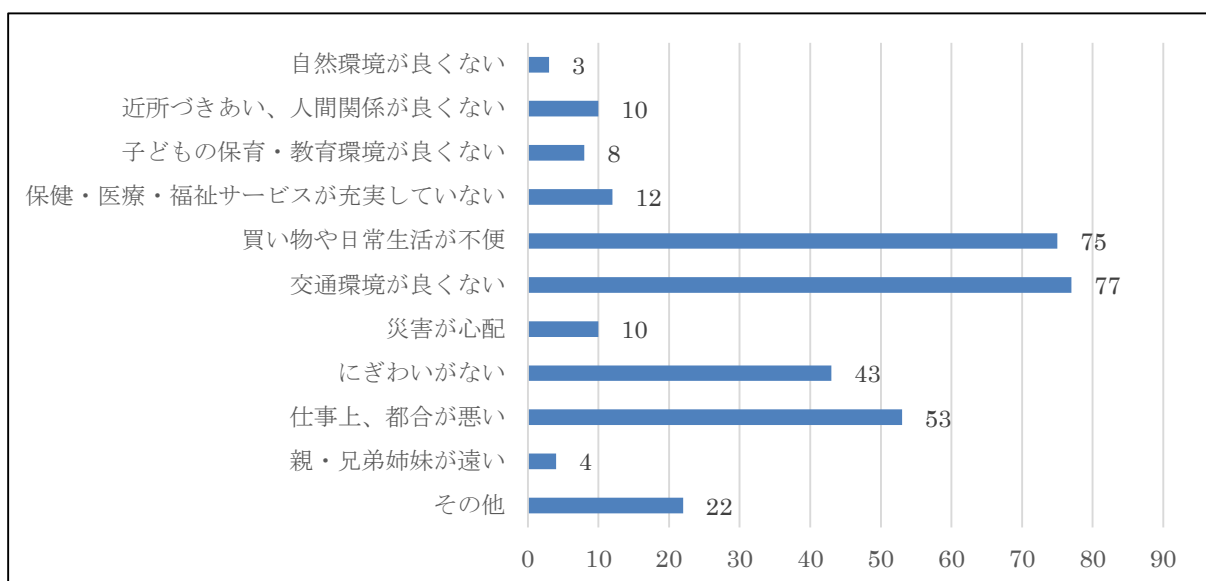
◆ 将来、白鷹町に住みたい・住み続けたいですか。



◆ 「将来、白鷹町に住みたい・住み続けたいですか。」に対して、「はい」と回答理由を教えてください。



◆ 「将来、白鷹町に住みたい・住み続けたいですか。」に対して、「いいえ」と回答理由を教えてください。



全体の 93.3%が「白鷹町は好きですか。」に対して、「はい」と回答している一方、「将来、白鷹町に住みたい・住みたい」に対して、全体の 48.7%が「いいえ」と回答している。「将来、白鷹町に住みたい・住みたい」に対して「いいえ」と回答した理由は、仕事上の不都合や公共交通機関など日常生活の不便さを挙げる回答の割合が高くなっています。

第3章 基本方針と施策の展開

第1節 政策・方針決定過程への女性の参画拡大に関する事項 **重点分野**

指導的地位への女性の参画を拡大することは、男女間の実質的な機会の平等の確保に繋がり、地域づくりやまちづくりにおける多様性や活力が高まります。また、固定的な性別役割分担意識などの無意識の偏見（アンコンシャス・バイアス）の解消に向け、女性が指導的地位への参画に意欲を持てるように、女性リーダーの育成に向けた研修受講や女性の社会参画促進につながる地域活動を推進する取組を進めていきます。

◎ 私たちの取組

- ・性別や所属に関係なく、課題解決に向け、ひとりひとりが力を出し合いましょう。
- ・地域や企業において、意思決定をするような役職に積極的に女性を任用しましょう。

◎ 行政の取組

具体的な施策	担当課
◆ 地区コミュニティセンター役員および各種地域役員への女性参画に対する意識啓発の推進 各種役員への女性参画の意識づくり、講座等を通じた女性リーダーの育成、家族の意識啓発の推進	総務課 教育委員会 企画政策課
◆ 各種審議会・委員会等への女性役員の積極的な任用 町政に係る各種審議会・委員会等の女性役員の任用を25%にするための ポジティブ・アクション[積極的改善措置] *の検討	全庁
◆ 先進事例派遣事業の推進 視野の拡大、今後の活動のための先進地の視察、事例紹介	企画政策課

※固定的な男女の役割分担意識や過去の経緯から、

- ・営業職に女性はほとんどいない
- ・課長以上の管理職は男性が大半を占めている

などの差が男女労働者の間に生じている場合、このような差を解消しようと、個々の企業が行う自主的かつ積極的な取組をいいます。

第2節 教育に関する事項 **重点分野**

男女共同参画基本法では、「男女共同参画の推進は、男女の個人としての尊厳が重んぜられること、男女が性別による差別的扱いを受けないこと、その他の男女の人権が尊重されることを旨として行われなければならない」と基本理念に定めています。本町における「男は仕事、女は家庭」という固定的な性別役割分担の考え方は薄れつつあるも、子育てアンケート及び若者アンケートの結果を見ると未だ根強く残っていると考えられます。子どもから高齢者まで様々な世代が、個人のライフスタイルや適性に合った生き方について見つめ直す機会を創出する取組を進めていきます。

◎私たちの取組

- ・男女共同参画週間（6月23日～29日）に、「男女共同参画」についてもう一度考えてみましょう。
- ・男女共同参画の普及啓発に向けて、団体・グループ等が自ら企画・実践しましょう。
- ・クラス内の係や役職など、無意識に性別で役割分担が決まることがありませんか。自分の意志や適性で自由に選択しやすい環境づくりを行いましょう。

◎行政の取組

具体的な施策	担当課
◆「広報しらたか」等による情報提供・意識啓発 広報による男女共同参画関係情報の掲載	企画政策課
◆男女共同参画に関する情報の提供 町や町内サークル等男女共同参画に係る情報の周知	企画政策課 教育委員会
◆外部機関が行う研修やイベントなどの町民への周知 県や国、外部機関が行う研修等の周知を行い、町民の参加促進、男女共同参画への理解を深めるきっかけづくり	企画政策課
◆町内各団体やサークルのネットワーク化 情報交換や研修会等を通じた町内の関係団体の連携促進	教育委員会 企画政策課

◆町民が主体的につくる地域づくりの推進 地域の自発的、主体的活動の支援	企画政策課
◆男女共同参画の視点に立った教育の充実 生活・道徳面における男女共同参画の意識啓発の推進	教育委員会 健康福祉課
◆保護者の意識啓発の推進 保護者の男女共同参画教育のための意識啓発の推進	教育委員会 健康福祉課
◆両親参加の研修会等の開催 子育て研修会等による男女共同参画の普及	教育委員会 健康福祉課
◆家庭内・家族の意識啓発の推進 講習会や広報等を通して家庭への男性の参画意識の啓発、社会全体の意識啓発の推進、家庭の日の設定	教育委員会 健康福祉課
◆男女共同参画の視点に立った生活習慣づくり 男女問わず、家庭の中で子どもと一緒に家事をすることで経験を積み重ね、家庭内の役割について話し合う時間をもつよう啓発	教育委員会 健康福祉課
◆性別にとらわれない学校・地域における伝統・文化の伝承 子どもたちへの伝統・文化を伝承する際の、性別にとらわれない視点の導入	教育委員会 企画政策課
◆地域の意識啓発の推進 男女共同参画の視点による世間体や近所との付き合い方に対する意識啓発の推進、古いしきたりや慣習の見直し	教育委員会 企画政策課

第3節 雇用分野・仕事と生活の調和に関する事項 **重点分野**

女性の社会参画への大きな障害として家事・育児・介護労働の女性への偏りが指摘されています。白鷹町においても、男性の家事・育児への参画率は上昇していますが、依然として女性に家事・育児が偏っている現状であります。このままでは、女性が自身の健康を気遣う時間を確保することは難しく、その結果、心身の健康を維持することができなくなるおそれがあり、女性の採用・育成・登用を阻害する可能性があります。女性も男性も働くことを希望する全ての人が、性別にかかわらず自らの個性と能力を十分に発揮し、生きがいを感じられる社会の実現に向

けた取組を進めていきます。

◎私たちの取組

- ・男女ともに仕事と家庭生活を両立できる環境整備に取り組みましょう。
- ・ハラスメントに対する正しい知識・認識を持ち、行動しましょう。
- ・毎月第3日曜日を「家庭の日」として、家族との時間を共有しましょう。
- ・育児・介護休暇等を取得できる環境整備に取り組みましょう。

◎行政の取組

具体的な施策	担当課
◆関係法令の周知 男女雇用機会均等法や、女性活躍推進法をはじめとする各種法令、計画等の周知	商工観光課 企画政策課 教育委員会
◆町内事業所等就業先にかかる情報提供 情報提供や各種機関との情報交換	商工観光課 教育委員会
◆職場環境の改善に関する情報提供 快適な職場環境の構築に関する情報提供・取組事例紹介	商工観光課
◆労働条件の実態調査の実施 各事業所等の実態調査の実施、情報提供の充実	商工観光課
◆同一労働同一賃金の周知啓発	商工観光課
◆柔軟な働き方の導入や労働時間短縮の促進 男女とも家事・育児に参加できる多様な勤務形態の普及・推進、ゆとりある労働時間の設定促進	商工観光課
◆職場改善に向けた企業に対する支援	商工観光課 企画政策課
◆個人の意欲と能力を活かすことのできる職場環境づくり 性別にとらわれない事務分担や、キャリア形成の支援	総務課 商工観光課

<p>◆各種研修への支援・職域の拡大の啓発</p> <p>再就職のための職業訓練や個性・能力を伸ばす研修、経営研修への支援、職域拡大の啓発、デジタル人材の育成支援</p>	商工観光課
<p>◆起業家の育成・支援</p>	商工観光課
<p>◆企業誘致・既存企業の育成</p> <p>就業先の確保、事業所案内等の情報提供</p>	商工観光課
<p>◆職域拡大、雇用・昇任におけるポジティブ・アクション[積極的改善措置]の促進</p>	商工観光課
<p>◆家族経営協定の普及促進</p> <p>農業・自営業における家族経営協定やヘルパー制度の普及促進</p>	農政課
<p>◆付加価値型農業の推進</p> <p>農家レストラン、直売所等のグリーンツーリズム活動支援、新たな事業の掘り起こし</p>	農政課
<p>◆女性活躍推進法に定める特定事業主行動計画の着実な推進</p>	総務課 商工観光課
<p>◆ハラスメント防止対策の促進</p> <p>事業者のセクハラ、パワハラ、カスハラ等ハラスメント防止措置義務の周知啓発</p>	商工観光課
<p>◆職員研修の充実</p> <p>ハラスメント防止に向けた研修の実施</p>	総務課
<p>◆子育て・介護支援策の充実</p> <p>子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育て・介護支援策の充実による働く女性・共働き家庭の支援</p>	健康福祉課
<p>◆結婚・出産退職等の慣習の是正</p> <p>結婚・出産後も働きつづけられる雇用環境づくり</p>	商工観光課
<p>◆育児・介護休業制度の取得促進</p> <p>従業員等への制度の周知・普及、事業所への周知</p>	商工観光課
<p>◆やまがたイクボス同盟の普及</p> <p>優遇措置等の周知、普及促進</p>	商工観光課

第4節 町民に対するあらゆる暴力の根絶に関する事項

夫婦間または恋人間、親子間など親しい間柄の暴力は「ドメスティック・バイオレンス（DV）」と総称されております。若年層においても交際相手からのDV、いわゆる「デートDV」の被害も深刻化しており、中には命の危険につながる重大な事件に至る可能性もあります。DV以外にも性犯罪やストーカー被害など住民を脅かす暴力が全国的に問題になっています。

これらの行為がどういうものなのかを知り、犯罪であるとの認識を広める活動が必要であり、被害者の保護や救済、さらには未然に防止するための取組を進めていきます。

◎私たちの取組

- ・DVといわれる行為がどういうものか調べてみましょう。
- ・「DVかも」と思ったら一人で悩まず、町の相談窓口を訪ねてみましょう。

◎行政の取組

具体的な施策	担当課
◆DVについての情報提供 「DVとは何か」を知るための情報提供	企画政策課 教育委員会 健康福祉課
◆DVに関する実態調査 暴力についての町民の認識や実態を把握するための調査の実施	企画政策課 健康福祉課
◆相談窓口の設置	健康福祉課
◆DVシェルター（保護施設）の紹介 暴力から保護・隔離するための施設の紹介	企画政策課 健康福祉課
◆関係機関との連携 被害者の発見から、立ち直りまでの支援に関わる関係所管との連携	企画政策課 健康福祉課

第5節 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性の尊重に関する事項

一人暮らしの高齢者世帯やひとり親世帯、町内在住の外国人、障がい者、生活困窮者、失業者など、生活上の困難に直面している人や世帯が、社会から孤立することなく、安心して暮らし続けることができるよう、地域での支え合いや必要に応じた経済的な支援策、相談窓口の設置、情報提供体制などの取組を進めていきます。

◎私たちの取組

- ・誰もが地域とつながり、自分らしく生活できる環境づくりに取り組みましょう。

◎行政の取組

具体的な施策	担当課
◆公共施設のバリアフリー等の推進 公共施設におけるバリアフリー、トイレやベビーベッドの充実	全庁
◆子どもや高齢者にやさしいまちづくりの推進 公園・児童遊具、歩道、公共住宅等使いやすい施設づくりの推進、交通システムの確立	全庁
◆イベントの際の託児所設置 講演会・イベント開催時の託児所の設置	全庁
◇相談窓口の設置	健康福祉課 町民課
◇子育て・介護支援策の充実 子ども・子育て支援事業計画に基づき、子育て・介護支援策の充実による働く女性・共働き家庭の支援	健康福祉課

第6節 地域に関する事項 **重点分野**

令和7年度版男女共同参画白書には、「若者が出身地域を離れた理由として、進学や就職を挙げる者の割合が高くなっています。しかし、それ以外にも、固定的な性別役割分担意識や伝統的な価値観が残る地元生きづらさを感じて他の地域、特に都会へと転出していることがうかがえ

る」と記載があり、出身地域を離れた理由として3番目に高い割合となっています。白鷹町においては、若者アンケートにおける「白鷹町が好き」と回答した割合が97.5%であり、親や近所づきあいが理由で白鷹町を選択しないと回答した割合は9.7%であることを踏まえると、若者の郷土愛の醸成がされており、女性や若者など誰もが様々な活動に参画でき、暮らしやすい地域づくりを推進してきた成果であると捉えることができます。引き続き、誰もが様々な活動に参画でき、発言しやすく、暮らしやすい地域づくりの推進に向けた取組を進めていきます。

また、人生100年時代において、さらなる活躍や健康寿命の延伸のために、健康づくりの意欲を高めていける取組を進めていきます。

◎私たちの取組

- ・地域で開催される地域行事やイベントに積極的に参加し、様々な人と交流を深めましょう。
- ・自分の体のことをよく知り、生涯を通じた健康づくりを考えてみましょう。

◎行政の取組

具体的な施策	担当課
◆町民が主体的につくる地域づくりの推進 地区コミュニティセンター活動、まちづくり助成事業等、地域の自発的、主体的活動や施設整備の支援	企画政策課
◆各種交流会の開催 世代間・地域間における意見交換、知恵や技術の伝承、後継者の育成、情報交換のための交流会の開催	教育委員会 商工観光課 健康福祉課
◇性別にとらわれない学校・地域における伝統・文化の伝承 子どもたちへの伝統・文化を伝承する際の、性別にとらわれない視点の導入	教育委員会 企画政策課
◆各種イベントの開催 さくらまつり、紅花まつり、鮎まつり、そばまつり、産業フェア等のイベントの開催・支援	商工観光課

◆国際交流推進 外国人との相互理解を通じた交流や相談、生活しやすいまちづくりの推進、中高生の国際交流事業の実施	企画政策課 町民課 教育委員会 商工観光課
◆元気な高齢者の生きがいづくり支援 シルバー人材センター等活動支援	健康福祉課
◆老後も安心して暮らせる健康づくり支援 健康な体づくりのための人間ドック・検診、健康相談の充実	健康福祉課
◆リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康と権利）の保障推進 女性の性と生殖に関する健康と権利に対する意識啓発の推進	健康福祉課
◆薬物乱用・喫煙・飲酒への対策 特に未成年の薬物乱用・喫煙・飲酒の防止のための知識の普及・啓発、アルコール依存症対策の実施	健康福祉課
◇付加価値型農業の推進 農家レストラン、直売所等のグリーンツーリズム活動支援、新たな事業の掘り起こし	農政課
◇相談窓口の設置	健康福祉課 町民課

第7節 防災に関する事項 **重点分野**

本町では令和2年7月、令和4年8月豪雨により冠水や土砂崩れ、道路陥没など町全体に渡り甚大な被害が及びました。このような避難所が開設されるような大きな災害の際には、性に関わる問題や犯罪が起きやすくなるため、若年層を含め女性や高齢者などの多くの町民参加による防災訓練や避難所運営における女性リーダーの育成などの取組を進めていきます。

◎私たちの取組

- ・男女共同参画の視点に立った地域防災活動が行われるよう、自主防災組織の活動に、性別や所属に関係なく積極的に参加しましょう。
- ・避難所運営における男女のニーズの違い等に配慮した生活用品等の管理や、トイレ・更衣室等の設置など女性の参画の重要性を啓発しましょう。

◎行政の取組

具体的な施策	担当課
◆防災訓練の実施	総務課
◆男女共同参画の視点を持った白鷹町防災計画の推進	総務課
◆地域の自主防災組織や消防団の活動などへの支援	総務課
◆高齢者見守り体制の構築	健康福祉課

◎第3次白鷹町男女共同参画計画 成果目標一覧

区分	目標項目	現況		目標値	
		年度	数値	年度	数値
第1節	各種審議会等の女性委員任用率(%) 「出典：企画政策課業務資料」	R 7	21.6	R 17	25
第2節	広報等による男女共同参画等に関する情報発信(回/年) 「出典：企画政策課業務資料」	R 7	2	R 17	2
第3節	育児・介護休暇取得者数の増加(人) 「出典：白鷹町企業調査」	R 5	14	R 17	20
第4節	広報等による相談窓口等に関する情報発信(回/年) 「出典：企画政策課業務資料」	R 7	1	R 17	1
第5節					
第6節	二十歳のつどい時アンケート地元帰志向の向上(%) 「出典：企画政策課業務資料」	R 7	51.0	R 17	65
	特定検診受診率(%) 「出典：国民健康保険事業現況データ」	R 5	59.8	R 15	60
第7節	町内における防災士の資格所有者における女性の割合(%) 「出典：総務課業務資料」	R 7	19.2	R 17	30

第4章 計画の推進

男女共同参画社会の実現のためには、町民ひとりひとりが男女共同参画社会についての理解を深め、家庭・職場・学校・地域で意識的に行動をしていくことが重要です。

また、町民の行動を促進するために、町のみならず、国や県、企業や関係団体が主体的に関わり、相互に連携し、施策に取り組んでいきます。

第1節 全庁あげた計画の推進

男女共同参画にかかる施策は多岐に渡るため、関係部署の連携を図るとともに、男女共同参画社会をめざすという共通認識を持ち、施策を先導的に進めていく担当課のみではなく、全庁が一体となって計画の推進に努めます。

第2節 町民・企業との連携

男女共同参画社会の推進のためには、町民の立場に立って問題点を見つけ、町民や企業と協力して解決していかなければなりません。

町では、町報等を通して、積極的な情報発信を行うとともに、男女共同参画に係る研修や講演会の開催により、町全体で意識の高揚に努めます。

第3節 国・県との連携

施策の円滑な推進のためには、町の実施だけでは不十分であり、国や県の多岐にわたる分野での施策展開が必要となります。それら関係機関と密に連携を図るとともに、積極的な協力要請、要望に努めます。

第4節 女性団体等関係機関との連携

地域課題が多様化する中、行政だけでは十分に対応しかねる課題解決のため、様々な分野で活躍している女性団体などの関係機関と連携した取組を推進します。

参考資料

計画策定体制図

白鷹町男女共同参画計画策定委員会名簿

子育て世代アンケート

若者アンケート

転入者アンケート

企業アンケート

関連法令

- ・ 女性差別撤廃条約

https://www.gender.go.jp/international/int_kaigi/int_teppai/jo_yaku.html (男女共同参画局ホームページ)

- ・ 男女共同参画社会基本法

<https://laws.e-gov.go.jp/law/411AC0000000078> (e-Gov ポータル)

- ・ 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律 (男女雇用機会均等法)

<https://laws.e-gov.go.jp/law/347AC0000000113> (e-Gov ポータル)

- ・ 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律 (育児・介護休業法)

<https://laws.e-gov.go.jp/law/403AC0000000076> (e-Gov ポータル)

- ・ 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律 (女性活躍推進法)

<https://laws.e-gov.go.jp/law/427AC0000000064> (e-Gov ポータル)

- ・ 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 (DV 防止法)

<https://laws.e-gov.go.jp/law/413AC0100000031> (e-Gov ポータル)

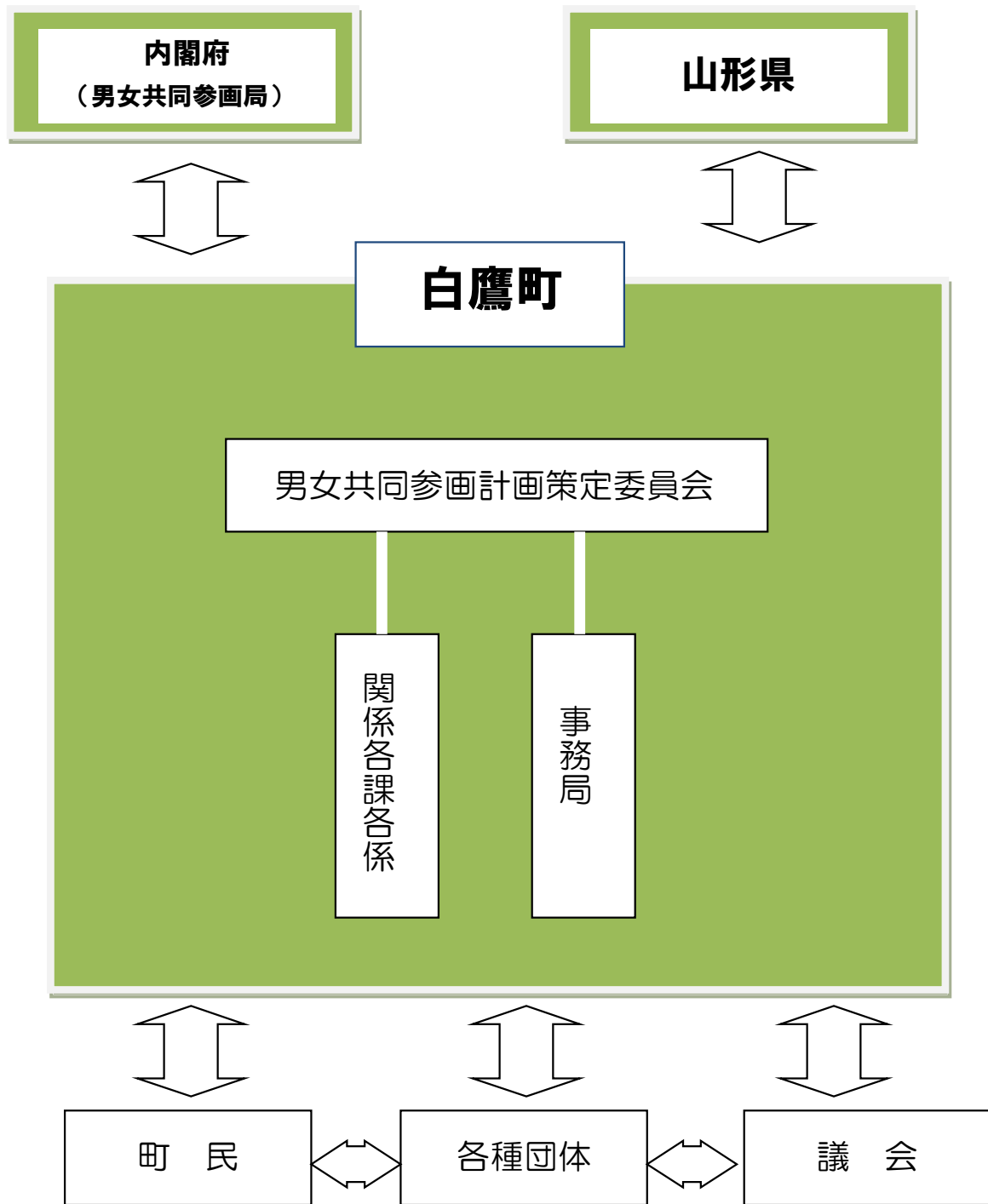
- ・ 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律

<https://laws.e-gov.go.jp/law/430AC1000000028> (e-Gov ポータル)

- ・ 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律

<https://laws.e-gov.go.jp/law/504AC0100000052> (e-Gov ポータル)

策定体制図



白鷹町男女共同参画計画策定委員

(敬称略)

No.	氏名	条例上の分類	所属等
1	鈴木 盛雄	子ども・子育て支援に関し 学識経験のある者	区長会
2	衣袋 幸治	子ども・子育て支援に関し 学識経験のある者	東根地区コミュニティ センターセンター長
3	村上 茂一	子ども・子育て支援に関し 学識経験のある者	主任児童委員
4	竹田 安路	子ども・子育て支援に関し 学識経験のある者	町校長会長
5	梅津 賢二	子どもの保護者	町保育協議会 保護者部会会長
6	高井 芳枝	子どもの保護者	蚕桑在住
7	役野 友美	子どもの保護者	十王在住
8	加藤 妙	子どもの保護者	鮎貝在住
9	松下 茂	事業主を代表する者	白鷹町商工会 商業サービス部会長
10	橋本 清雄	事業主を代表する者	白鷹町商工会 工業部会副会長
11	小林雄次郎	事業主を代表する者	JA山形おきたま 白鷹地区青年部委員長
12	山本 幸子	子ども・子育て支援に関す る事業に従事する者	認定こども園(愛真こども園)
13	梅津 靖雄	子ども・子育て支援に関す る事業に従事する者	保育所(さくらの保育園)
14	船山 泉	子ども・子育て支援に関す る事業に従事する者	地域子育て支援拠点(にこぽーと施設長)

子育て世代アンケート集計結果

問1 あなたの性別をお選びください。 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性	143	39.3
2	女性	216	59.3
3	その他	0	0.0
4	回答しない	5	1.4
	不明・無回答	0	0.0
	N (%ベース)	364	100

問2 あなたの年代をお選びください。 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	10代	0	0.0
2	20代	24	6.6
3	30代	108	29.7
4	40代	155	42.6
5	50代	68	18.7
6	60代	6	1.6
7	70代以上	2	0.5
	不明・無回答	1	0.3
	N (%ベース)	364	100

問3 あなたの家族構成をお選びください。 (MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	単身 (一人暮らし)	2	0.5
2	夫婦・パートナーのみ	53	14.6
3	子どもと同居 (未就学児)	87	23.9
4	子どもと同居 (小・中学生)	207	56.9
5	子どもと同居 (16~18歳)	113	31.0
6	子どもと同居 (18歳以上)	35	9.6
7	親と同居	151	41.5
8	その他 ()	19	5.2
	不明・無回答	0	0.0
	N (%ベース)	364	100

問4 現在お住まいの地域での居住歴をお選びください。 (SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	生まれてからずっと住んでいる	106	29.1
2	一時期別の場所に住んでいたことがある	131	36.0
3	県内の他の市町村から転入してきた	100	27.5
4	県外から転入してきた	25	6.9
5	国外から転入してきた	1	0.3
	不明・無回答	1	0.3
	N (%ベース)	364	100

問5 直近の引っ越しのきっかけとしてあてはまるものをお選びください。

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	就職・転職・起業	38	14.8
2	転勤	9	3.5
3	結婚・出産	119	46.3
4	進学	25	9.7
5	よりよい子育て環境を求めて	18	7.0
6	住宅の購入・新築	42	16.3
7	親との同居・近居	27	10.5
8	Uターン・Iターン	20	7.8
9	その他 ()	8	3.1
	不明・無回答	23	8.9
	N (%ベース)	257	100

問6 居住先を決める際に特に重視したことをお選びください。

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	自然環境	39	15.2
2	子育て・教育環境	61	23.7
3	医療・福祉施設	15	5.8
4	商業施設 (スーパー、店舗など)	23	8.9
5	公共交通の利便性	11	4.3
6	職場・学校への近さ	60	23.3
7	住宅の価格・家賃	35	13.6
8	地域の治安の良さ	28	10.9
9	実家からの距離	84	32.7
10	地域のコミュニティや人付き合い	16	6.2
11	その他 ()	53	20.6
	不明・無回答	24	9.3
	N (%ベース)	257	100

問7 今後も白鷹町に住み続けたいと思いますか。

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ぜひ住み続けたい	85	23.4
2	できれば住み続けたい	136	37.4
3	どちらともいえない	97	26.6
4	いずれは転出したい	29	8.0
5	すぐにでも転出したい	2	0.5
	不明・無回答	15	4.1
	N (%ベース)	364	100

問8 あなたの現在の職業をお選びください。

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	自営業	27	7.4
2	会社員・会社役員	223	61.3
3	専業主婦・主夫	6	1.6
4	公務員	43	11.8
5	学生	3	0.8
6	パート・アルバイト	34	9.3
7	無職	9	2.5
8	その他 ()	16	4.4
	不明・無回答	3	0.8
	N (%ベース)	364	100

問9 働いている職業の主たる業種をお選びください。(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	農林水産業	11	4.4
2	建築業	15	6.0
3	製造業	92	36.8
4	商業・サービス業	76	30.4
5	その他 ()	47	18.8
	不明・無回答	9	3.6
	N (%ベース)	250	100

問10 お勤め先の従業員規模をお選びください。(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	49人以下	116	38.7
2	50~299人	131	43.7
3	300~999人	27	9.0
4	1,000人以上	15	5.0
	不明・無回答	11	3.7
	N (%ベース)	300	100

問11 あなたの1日の平均的な労働時間(残業含む)をお選びください。

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	4時間未満	4	1.3
2	4~6時間未満	15	5.0
3	6~8時間未満	85	28.3
4	8~10時間未満	174	58.0
5	10時間以上	14	4.7
	不明・無回答	8	2.7
	N (%ベース)	300	100

問12 学校や勤務先までの通学・通勤時間をお選びください。

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	15分未満	157	51.8
2	15~30分未満	71	23.4
3	30分~1時間未満	49	16.2
4	1時間~1時間30分未満	17	5.6
5	1時間30分~2時間未満	0	0.0
6	2時間以上	1	0.3
7	基本的に在宅勤務・テレワーク	2	0.7
	不明・無回答	6	2.0
	N (%ベース)	303	100

問13 普段の休日の主な過ごし方をお選びください。(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家でゆっくり過ごす(テレビ、読書など)	192	52.7
2	趣味や習い事	62	17.0
3	ショッピング	150	41.2
4	友人や知人と会う	55	15.1
5	家族サービス・子育て	222	61.0
6	スポーツや運動	38	10.4
7	旅行やドライブ	72	19.8
8	地域の活動やボランティア	25	6.9
9	副業や自己啓発(学習)	9	2.5
10	その他 ()	32	8.8
	不明・無回答	3	0.8
	N (%ベース)	364	100

問14 あなたの現在の生活に対する満足度をお選びください。

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	満足	58	15.9
2	やや満足	136	37.4
3	どちらともいえない	86	23.6
4	やや不満	57	15.7
5	不満	22	6.0
	不明・無回答	5	1.4
	N (%ベース)	364	100

問15 生活に不満を感じている内容をお選びください。

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	仕事や収入の面	51	64.6
2	住居や住環境	30	38.0
3	買い物や交通の利便性	34	43.0
4	子育てや教育の環境	20	25.3
5	医療や福祉のサービス	24	30.4
6	地域の間関係やコミュニティ	22	27.8
7	趣味やプライベートの時間	20	25.3
8	将来への不安	47	59.5
9	その他 ()	6	7.6
	不明・無回答	0	0.0
	N (%ベース)	79	100

問16 ①家事

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	主に女性	117	32.1
2	主に女性、男性が時々手伝う	147	40.4
3	男女とも同じ程度	79	21.7
4	主に男性、女性が時々手伝う	5	1.4
5	主に男性	11	3.0
6	その他 (誰も行っていない等)	1	0.3
	不明・無回答	4	1.1
	N (%ベース)	364	100

問16 ②育児

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	主に女性	72	19.8
2	主に女性、男性が時々手伝う	135	37.1
3	男女とも同じ程度	114	31.3
4	主に男性、女性が時々手伝う	5	1.4
5	主に男性	4	1.1
6	その他 (誰も行っていない等)	26	7.1
	不明・無回答	8	2.2
	N (%ベース)	364	100

問16 ③介護

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	主に女性	40	11.0
2	主に女性、男性が時々手伝う	13	3.6
3	男女とも同じ程度	15	4.1
4	主に男性、女性が時々手伝う	2	0.5
5	主に男性	7	1.9
6	その他 (誰も行っていない等)	260	71.4
	不明・無回答	27	7.4
	N (%ベース)	364	100

問17 あなたの家庭での、平日の家事・育児の分担割合に近いものをお選びください。

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ほぼ全て自分 (9割以上)	68	18.7
2	主に自分 (7~8割程度)	91	25.0
3	夫婦・パートナーで半々くらい	80	22.0
4	主にパートナー (7~8割程度)	63	17.3
5	ほぼ全てパートナー (9割以上)	19	5.2
6	あてはまらない	40	11.0
	不明・無回答	3	0.8
	N (%ベース)	364	100

問18 あなたは、「夫は働き、妻は家庭を守る」という考え方についてどう思いますか。あなたの考えに近いものをお選びください。

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	賛成である	11	3.0
2	どちらかといえば賛成である	57	15.7
3	どちらかといえば反対である	86	23.6
4	反対である	128	35.2
5	わからない	79	21.7
	不明・無回答	3	0.8
	N (%ベース)	364	100

問19 ①家庭生活

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性が優遇	33	9.1
2	どちらかといえば男性が優遇	111	30.5
3	平等である	144	39.6
4	どちらかといえば女性が優遇	25	6.9
5	女性が優遇	7	1.9
6	わからない	38	10.4
	不明・無回答	6	1.6
	N (%ベース)	364	100

問19 ②職場

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性が優遇	48	13.2
2	どちらかといえば男性が優遇	118	32.4
3	平等である	133	36.5
4	どちらかといえば女性が優遇	21	5.8
5	女性が優遇	8	2.2
6	わからない	31	8.5
	不明・無回答	5	1.4
	N (%ベース)	364	100

問19 ③地域活動の場

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性が優遇	53	14.6
2	どちらかといえば男性が優遇	127	34.9
3	平等である	107	29.4
4	どちらかといえば女性が優遇	13	3.6
5	女性が優遇	4	1.1
6	わからない	56	15.4
	不明・無回答	4	1.1
	N (%ベース)	364	100

問19 ④学校教育の場

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性が優遇	13	3.6
2	どちらかといえば男性が優遇	42	11.5
3	平等である	230	63.2
4	どちらかといえば女性が優遇	6	1.6
5	女性が優遇	1	0.3
6	わからない	67	18.4
	不明・無回答	5	1.4
	N (%ベース)	364	100

問19 ⑤政治の場

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性が優遇	125	34.3
2	どちらかといえば男性が優遇	129	35.4
3	平等である	58	15.9
4	どちらかといえば女性が優遇	1	0.3
5	女性が優遇	2	0.5
6	わからない	45	12.4
	不明・無回答	4	1.1
	N (%ベース)	364	100

問19 ⑥法律や制度上

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性が優遇	52	14.3
2	どちらかといえば男性が優遇	106	29.1
3	平等である	106	29.1
4	どちらかといえば女性が優遇	20	5.5
5	女性が優遇	6	1.6
6	わからない	70	19.2
	不明・無回答	4	1.1
	N (%ベース)	364	100

問19 ⑦社会通念・慣習・しきたり等

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性が優遇	104	28.6
2	どちらかといえば男性が優遇	141	38.7
3	平等である	55	15.1
4	どちらかといえば女性が優遇	4	1.1
5	女性が優遇	1	0.3
6	わからない	53	14.6
	不明・無回答	6	1.6
	N (%ベース)	364	100

問20 女性が収入のある仕事につくことについて、どう思いますか。

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	結婚や出産とは関係なく仕事についたほうがよい	288	79.1
2	結婚するまでは仕事についたほうがよい	1	0.3
3	子どもが生まれるまでは仕事についたほうがよい	9	2.5
4	結婚または出産したら仕事をやめ、子どもが成長してから再	25	6.9
5	結婚や出産とは関係なく仕事につかないほうがよい	5	1.4
6	その他 ()	34	9.3
	不明・無回答	2	0.5
	N (%ベース)	364	100

問21 社会全体で、女性がより活躍しやすくなるために、特に必要だと思うものをお選びください。(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	保育所や学童保育等、子育て支援サービスの充実	230	63.2
2	男性の家事・育児への参加促進	153	42.0
3	育児・介護休業を取得しやすい職場環境づくり	209	57.4
4	時間や場所にとらわれない柔軟な働き方（テレワーク、時短）	167	45.9
5	性別による役割分担意識の解消	81	22.3
6	企業における女性管理職の積極的な登用	32	8.8
7	女性自身の意識改革	50	13.7
8	その他（ ）	14	3.8
	不明・無回答	4	1.1
	N（%ベース）	364	100

問22 男女共同参画社会の実現のためには、どのような取り組みが必要であると考えますか。(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	年次有給休暇の取得促進等働き方の見直し	174	47.8
2	介護サービスの充実	99	27.2
3	育児休暇等の制度が利用しやすい環境づくり	187	51.4
4	家庭生活への男性の参加促進	149	40.9
5	保育サービスの充実	137	37.6
6	女性のための就業支援	106	29.1
7	習慣やしきたりを改める	147	40.4
8	性別による役割分担の意識改革	120	33.0
9	職場において男女を平等に扱う	79	21.7
10	その他（ ）	12	3.3
	不明・無回答	6	1.6
	N（%ベース）	364	100

問23 あなた（または配偶者・パートナー）は、育児休業を利用したことがありますか。また、今後の利用意向はありますか。(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	自身またはパートナーが利用したことがある	180	49.5
2	利用できる対象だが、利用しなかった	42	11.5
3	今後利用したいと考えている	9	2.5
4	利用したいが、難しいと思う	23	6.3
5	対象ではない・わからない	105	28.8
	不明・無回答	5	1.4
	N（%ベース）	364	100

問24 育児休業の利用を、社会全体で促進するために、特に必要だと思うものをお選びください。(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	休業中の所得保障（給付金等）の充実	275	75.5
2	休業を取得しやすい職場の雰囲気づくり	229	62.9
3	休業者の代わりとなる人員の確保や業務の分担体制	173	47.5
4	休業後の円滑な職場復帰への支援	126	34.6
5	制度内容や手続きに関する情報提供の強化	53	14.6
6	男性の育児休業取得を奨励する企業の取り組み	73	20.1
7	その他（ ）	10	2.7
	不明・無回答	4	1.1
	N（%ベース）	364	100

問25 あなたはワーク・ライフ・バランスについて知っていましたか。(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	言葉も意味も知っていた	133	36.5
2	言葉は知っていたが、意味は知らなかった	106	29.1
3	言葉も意味も知らなかった	122	33.5
	不明・無回答	3	0.8
	N（%ベース）	364	100

問26 あなたにとって、仕事と個人の生活の理想的な関係をお選びください。

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	仕事を最優先したい	1	0.3
2	どちらかといえば仕事を優先したい	19	5.2
3	仕事と個人の生活を両立させたい	214	58.8
4	どちらかといえば個人の生活を優先したい	89	24.5
5	個人の生活を最優先したい	38	10.4
	不明・無回答	3	0.8
	N (%ベース)	364	100

問27 現在、あなたは仕事と家庭・地域生活の間で調和のとれた生活を過ごしている
と思えますか。

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	そう思う	127	34.9
2	そう思わない	132	36.3
3	わからない	102	28.0
	不明・無回答	3	0.8
	N (%ベース)	364	100

問28 ①利用したことがあるもの

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	育児休業制度	138	37.9
2	短時間勤務制度	60	16.5
3	フレックスタイム制度	21	5.8
4	テレワーク・在宅勤務制度	25	6.9
5	子の看護休暇制度	53	14.6
6	企業内保育所	6	1.6
7	ベビーシッター等の利用補助	4	1.1
8	男性の育児休業	25	6.9
9	特にない・わからない	148	40.7
	不明・無回答	45	12.4
	N (%ベース)	364	100

問28 ②今後取り入れてほしいもの

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	育児休業制度	54	14.8
2	短時間勤務制度	112	30.8
3	フレックスタイム制度	121	33.2
4	テレワーク・在宅勤務制度	97	26.6
5	子の看護休暇制度	96	26.4
6	企業内保育所	55	15.1
7	ベビーシッター等の利用補助	57	15.7
8	男性の育児休業	54	14.8
9	特にない・わからない	77	21.2
	不明・無回答	45	12.4
	N (%ベース)	364	100

問6 育児の得意・不得意について、あなたの考えに当てはまるものをお選びください。

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性の方が得意	3	1.0
2	どちらかというとな男性の方が得意	8	2.7
3	性別による差はない	182	61.1
4	どちらかというとな女性の方が得意	84	28.2
5	女性の方が得意	21	7.0
	不明・無回答	0	0.0
	N (%ベース)	298	100

問7 白鷹町は好きですか。

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	はい	278	93.3
2	いいえ	20	6.7
	不明・無回答	0	0.0
	N (%ベース)	298	100

問8 白鷹町のいいところを教えてください。

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	食べ物	168	56.4
2	名産・特産品	98	32.9
3	市街地の賑わい	22	7.4
4	交通手段の便利さ	17	5.7
5	リラックスできる温泉や宿泊施設	53	17.8
6	街並み・景観	118	39.6
7	案内標識の明解さ	17	5.7
8	祭りやイベント	130	43.6
9	産業・工場見学等体験施設	17	5.7
10	スポーツ施設	41	13.8
11	文化・芸術施設	48	16.1
12	おもてなしの心	95	31.9
13	その他 ()	22	7.4
	不明・無回答	4	1.3
	N (%ベース)	298	100

問9 将来、白鷹町に住みたい・住み続けたいですか。

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	はい	152	51.0
2	いいえ	145	48.7
	不明・無回答	1	0.3
	N (%ベース)	298	100

問10 問9の回答の理由を教えてください。

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	自然環境が良い	106	69.7
2	近所づきあい、人間関係が良い	76	50.0
3	子どもの保育・教育環境が良い	36	23.7
4	保健・医療・福祉サービスが充実している	30	19.7
5	買い物や日常生活が便利	25	16.4
6	交通環境が良い	15	9.9
7	災害が少ない	48	31.6
8	にぎわいがある	15	9.9
9	仕事に都合が良い	15	9.9
10	親・兄弟姉妹がいる(同居・近居)	72	47.4
11	家や土地を持っている	25	16.4
12	その他 ()	4	2.6
	不明・無回答	1	0.7
	N (%ベース)	152	100

問11 問9の回答の理由を教えてください。

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	自然環境が良くない	3	2.1
2	近所づきあい、人間関係が良くない	10	6.9
3	子どもの保育・教育環境が良くない	8	5.5
4	保健・医療・福祉サービスが充実していない	12	8.3
5	買い物や日常生活が不便	75	51.7
6	交通環境が良くない	77	53.1
7	災害が心配	10	6.9
8	にぎわいがない	43	29.7
9	工作上、都合が悪い	53	36.6
10	親・兄弟姉妹が遠い	4	2.8
11	その他 ()	22	15.2
	不明・無回答	0	0.0
	N (%ベース)	145	100

問12 将来、住居はどのように考えていますか。

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	実家で家族と同居	43	14.4
2	アパート	68	22.8
3	家を建てる	170	57.0
4	その他 ()	14	4.7
	不明・無回答	3	1.0
	N (%ベース)	298	100

問13 将来、結婚したいですか。

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	結婚したい (歳頃)	152	51.0
2	結婚したくない	20	6.7
3	すでに結婚している	7	2.3
4	わからない	116	38.9
	不明・無回答	3	1.0
	N (%ベース)	298	100

問14 白鷹町に求めるものを教えてください。

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	自然環境	69	23.2
2	子育て・教育環境	97	32.6
3	医療・福祉施設	94	31.5
4	商業施設 (スーパー、店舗など)	191	64.1
5	公共交通の利便性	176	59.1
6	職場・学校への近さ	62	20.8
7	住宅の価格・家賃	45	15.1
8	地域の治安の良さ	54	18.1
9	実家からの距離	16	5.4
10	地域のコミュニティや人付き合い	50	16.8
11	その他 ()	14	4.7
	不明・無回答	3	1.0
	N (%ベース)	298	100

問15 あなたは、白鷹町の情報について、チェックしていますか。

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	はい	93	31.2
2	いいえ	205	68.8
	不明・無回答	0	0.0
	N (%ベース)	298	100

問16 あなたは、どのような方法で白鷹町の情報をチェックしていますか。(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	町ホームページ	39	41.9
2	公式Instagram	45	48.4
3	公式LINE	12	12.9
4	広報誌	34	36.6
5	その他()	3	3.2
	不明・無回答	0	0.0
	N (%ベース)	93	100

問17 どのようなツールで白鷹町の情報をチェックしたいと思いますか。(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	町ホームページ	136	45.6
2	LINE	55	18.5
3	Instagram	147	49.3
4	X (旧Twitter)	53	17.8
5	YouTube	45	15.1
6	Facebook	6	2.0
7	TikTok	47	15.8
8	その他()	9	3.0
	不明・無回答	17	5.7
	N (%ベース)	298	100

問18 将来、どこで働きたいと思いますか？(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	白鷹町	29	9.7
2	山形県内(白鷹町以外)	71	23.8
3	東北地方(山形県以外)	39	13.1
4	関東地方(東京など)	54	18.1
5	その他の地域	8	2.7
6	海外	11	3.7
7	まだわからない	86	28.9
	不明・無回答	0	0.0
	N (%ベース)	298	100

問19 どのような分野の仕事に興味がありますか。(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	農業、林業など自然に関わる仕事	20	6.7
2	ものづくり、建設の仕事	46	15.4
3	IT、Web、ゲームなどの仕事	46	15.4
4	医療、福祉、介護の仕事	63	21.1
5	学校の先生、教育に関わる仕事	35	11.7
6	販売、接客、サービスの仕事	54	18.1
7	公務員	55	18.5
8	自分で会社やお店を始めたい(起業)	21	7.0
9	その他()	45	15.1
10	まだわからない	49	16.4
	不明・無回答	1	0.3
	N (%ベース)	298	100

問20 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思いますか。(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	そう思う	91	30.5
2	どちらかというと思う	111	37.2
3	どちらかというと思わない	36	12.1
4	そう思わない	59	19.8
	不明・無回答	1	0.3
	N (%ベース)	298	100

問21 「白鷹町で働くこと」について、どのようなイメージを持っていますか。

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	自然に囲まれて気持ちよく働けそう	128	43.0
2	地域や人のために貢献できそう	117	39.3
3	仕事とプライベートのバランスがとりやすそう	55	18.5
4	アットホームな雰囲気職場が多そう	71	23.8
5	やりたい仕事や、働く場所の選択肢が少なそう	119	39.9
6	給料があまり高くなさそう	143	48.0
7	人間関係が密で、少し大変そう	44	14.8
8	都会に比べて、新しい情報や刺激が少なそう	98	32.9
9	その他 ()	0	0.0
10	まだわからない	20	6.7
	不明・無回答	2	0.7
	N (%ベース)	298	100

問22 あなたは、白鷹町にある企業で働くことに興味がありますか。

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ぜひ働きたいと思う	12	4.0
2	良い企業や仕事があれば働きたいと思う	137	46.0
3	働きたいとは思わない	59	19.8
4	そもそも白鷹町にどんな企業があるかよく知らない	89	29.9
5	既に白鷹町の企業で働いている	0	0.0
	不明・無回答	1	0.3
	N (%ベース)	298	100

問23 どうしてそう思いましたか。

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	通勤時間が短く、時間や体力に余裕が生まれるから	11	91.7
2	プライベートや家族との時間を大切にできるから	5	41.7
3	子育てや介護など、家庭の事情と両立しやすいから	1	8.3
4	転職の可能性が低く、将来の生活設計を立てやすいから	1	8.3
5	愛着のある地元や地域社会に貢献したいから	1	8.3
6	災害などの緊急時に、すぐに帰宅できる安心感があるから	1	8.3
7	町内企業の事業内容や理念に魅力を感じたから	0	0.0
8	アットホームな職場で、人間関係のストレスが少なそうだから	0	0.0
9	希望する職種や条件に合う求人が、たまたま町内にあったから	0	0.0
10	その他 ()	0	0.0
	不明・無回答	0	0.0
	N (%ベース)	12	100

問24 どうしてそう思いましたか。

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	希望する職種や業種の選択肢が少ないから	40	67.8
2	一度は地元を離れて、新しい環境で生活してみたいから	23	39.0
3	給与や福利厚生などの待遇が、都市部の企業より良くないと感じるから	19	32.2
4	スキルアップやキャリアアップの機会が限られていると感じるから	10	16.9
5	仕事とプライベートの区別がつきにくくなりそうだから	3	5.1
6	地域コミュニティが狭く、プライバシーが守られにくいと感じるから	8	13.6
7	人間関係が固定的で、息苦しくなりそうだから	11	18.6
8	昔ながらの慣習や「しがらみ」のようなものがありそうだから	12	20.3
9	多様な価値観を持つ人々から刺激を受ける機会が少ないと感じるから	8	13.6
10	その他 ()	2	3.4
	不明・無回答	0	0.0
	N (%ベース)	59	100

問25 もし将来、あなたに子どもが生まれたら、どのように働きたいと思いますか。

(SA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	育児休業（育休）をとって、その後はフルタイムでしっかり働く	87	29.2
2	時短勤務や在宅ワーク（テレワーク）などを利用して、柔軟に働く	45	15.1
3	パートナーと協力して、お互い働き方は変えずに両立する	76	25.5
4	一度仕事をやめて、子育てに集中する	7	2.3
5	その他（	1	0.3
6	まだ具体的にイメージができていない	79	26.5
	不明・無回答	3	1.0
	N（%ベース）	298	100

問26 町では、住み続けたいと思ってもらえるまちづくりのため、特に、子育て環境を充実させる施策を展開しています。知っている事業はありますか。

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	妊婦さんの通院費支援（3万円）	46	15.4
2	保育料完全無料化	110	36.9
3	小中学校スクールバス（無料）	202	67.8
4	結婚前に新生活支援（最大60万円）	51	17.1
5	町内への移住支援（最大100万円+α）	49	16.4
6	空き家購入等支援（最大60万円）	34	11.4
7	出生祝金（10万円）	54	18.1
8	小学校入学時にランドセル贈呈	187	62.8
9	高校生までの医療費無料化	195	65.4
10	町内新築に支援（最大130万円）	34	11.4
	不明・無回答	5	1.7
	N（%ベース）	298	100

女性・子育て世代・若者に選ばれる まちづくりに向けたヒアリング調査

今後新たな移住者を獲得していくために、白鷹町に実際に移住された皆様から、移住の経緯や住まい探しの流れ、白鷹町での暮らしの状況などをお聞きするため、ヒアリング調査を実施することといたしました。つきましては、お忙しいところ、お手数をおかけいたしますが、趣旨をご理解いただき、ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

※町より移住定住支援金を交付させていただいた方に送付しています。

調査票への回答が済みましたら、

本調査票を同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

9月22日（月）までに郵便ポストに投函してください。

【お問い合わせ先】

白鷹町 企画政策課

TEL:0238-85-6123 FAX:0238-85-2128

メール: kikaku@so.town.shirataka.yamagata.jp

※上記お問い合わせ先までご連絡いただければ、調査票のデータお渡しも可能です。

■あなたについて教えてください。

回答者名			
回答者の年代	1. 20代	2. 30代	3. 40代
	4. 50代	5. 60代以上	
家族構成	1. 子どもと同居 (未就学児)	2. 子どもと同居 (小・中学生)	3. 子どもと同居 (16~18歳)
	4. 子どもと同居 (18歳以上)	5. 親と同居	6. その他 ()
ご連絡先	TEL:		
	FAX:		
	メール:		
	※今後、聞き取りを実施する際のご連絡先をお聞きできればと思います。		

問1 白鷹町へ移住されるまでの経緯について教えてください。

(移住を考え始めた時期やきっかけ、移住前のお住まいについて、移住を検討する際の候補地、移住先として白鷹町に決めた理由 等) ※回答可能な内容で構いません。

- ①子育て支援住宅の空きがタイミングよく見つかった
 - ②妻がもともと白鷹で働いていた
- 上の子が中学生になるため
- 子供を連れて、だったので頼れる人がいる場所、知っている場所がよく、地元である白鷹町に戻ってきた
- 山形市で生活していましたが、上の子の小学校入学前(年長)に実家のある白鷹町に移住しました。他に移住を検討していた候補地はありません。
- 元々実家が白鷹にあるため。結婚を機に夫婦で2人暮らしすることになり、将来的には実家に戻りつもりで外に出て行った。時が経ち、2年で戻ると決めていたため夫を連れて戻ってきた。
- 白鷹出身だから
- 移住を考えた人の妻、宮城県名取市、起業のため、妻の実家が白鷹だった
- 子供を園に入れる為。小学校も中学校も近いため引っ越してきました。
- 出身者であり、家を購入するタイミングで移住した
- 結婚を機に一軒家に住みたいと思い探していた時に、保育園が近く子育てがしやすい鮎貝に決めました。
- 街で暮らすうちに、仕事中心・消費中心の生活に違和感を感じるようになってきていました。現代の価値観である、利便性や効率性が優先の考え方から距離をとるためには、今の人たちが好まない不便なところへ行くことが良いと思えました。家庭菜園、楽しみとしての農作業ができることが希望でした。九州や信州、島にも足を運びました。移住の動機としては、少数派だと思いますが、こういう人たちにリーチするのも一手だと思っています。
- 主人の実家が白鷹で主人の祖父が亡くなり同居することになったため
- 子どもが生まれ妻の実家が白鷹町だった。保育料が無料なのが良かった。
- 土地が安く、保育料が無償であり子育てしやすいと思った為。
- 結婚して子育てをするにあたり、両親の敷地に住宅を建てた為
- 離婚の為実家に帰省
- 転勤続きで子どもの進学のこともふまえて
- 結婚を機に実家の建て替えを計画し、新居完成までの間は他市のアパートに居住していた。
- 以前は長井市に住んでいましたが、子供の小学校入学を機に、地元の白鷹町へ戻ることを決めました。
- 以前は山形市のアパートにいました。友人達が家建て始め、私もそろそろと考えていた時に新聞で白鷹町に分譲地が掲載されていました。夫婦お互いに実家も白鷹なので子育てのことも考え白鷹に決めました。
- 移住前は仙台市のアパートに住んでいました。子どもを産んで、家の目の前にある徒歩1分の幼稚園、ほかに徒歩3分の保育園に希望を出しましたが入ることができませんでした。他にも理由はたくさんありましたが、目の前に保育園があるのに預けられないもどかしさと、仕事と子育ての両立の難しさを感じて移住を考えるようになりました。
- 天童市に住んでいましたが、転職をきっかけに妻の地元に移住することを決めました。

- 長井在中に離婚(別居)→勤務先の白鷹町に会社の社宅があり空いていたので借りることにした。(もともと実家が白鷹のためそれも理由の1つです)
 - 元々白鷹出身、結婚をきっかけに長井市のアパートに住み、妊娠を機に地元で子育てをしたいと思いUターンしました。全年齢保育料無償がかなり大きいです。
 - 離婚したかったから。小さい子どもが2人いたので親元で育てたいと思った。
 - 就職・結婚後は山形市内に住んでおりましたが、長男の小学校入学までには山形市(妻の地元)か白鷹町(私の地元)のどちらかに定住したいと思い、長男が年少児の頃から検討を始め、最終的には白鷹町の実家の隣に家を新築することに決めました。決め手は様々ありますが、主なものとしては以下のとおりです。
- 《白鷹町という選択肢》
- ・町外出身の妻が白鷹町への移住に理解を示してくれたこと。
 - ・両親から子育てで協力を得られること。
 - ・私の友人も多く住んでいること。
- 《両親との近居という選択肢》
- ・白鷹町への移住などの生活環境の変化に加えて、両親との同居は妻の負担も大きいと感じたこと。
 - ・私の両親もそれぞれ仕事や地域での役回りがあり、分かれて生活した方がうまくいくと思ったこと。
 - ・様々な方への相談や、多様な体験談等から、両親との近居の方が自分たちには合っていると思ったこと。
- 家を建てるタイミングで実家のある白鷹町にしました。

問2 移住にあたっての住まい探しの流れについて教えてください。

(情報収集の方法(収集した情報・情報の入手先、もっと欲しかった情報)、住まい探しで苦労したこと、現在の住まいに決めた理由 等)

- ①もともと子育て支援住宅について知人より聞いていた
- ②借家は一般的に清掃業者が入ってクリーニングするが、今回は前入居者の手によってクリーニングしているため汚れが多く残っていた。このような状況を内見のときから知っておきたかった
- 家があるので探していません
- 支援住宅(片親ダメで苦労した)、賃貸アパートを探したが、条件に合う物件がなく(時期が合わなかったり、入居までに時間がかかりそうだったり、そもそも空きもなかったり…)苦労した
- 実家のため特になし。
- 実家なのでとくになし
- 実家住まいだから
- 知人の紹介で白鷹にきました。
- 荒砥がスーパーなど利便性が高く、住む候補となるが、土地を探すのに苦労した。(人づてに探した)
- 夫の実家が白鷹町だったので、夫の両親にすすめられ決めました。
- 各市町村の空き家バンクで探しました。自分たちの希望する条件の空き家がない、少ないことに苦労しました。二人暮らしには大きすぎる、持ち主の方の家財道具がそのままのこされていてポジティブな感情で家を見られない等。現在の住まいは、家に畑地が隣接しているところがよかったです。

転入者アンケート集計結果

持ち主の方が周囲の方に依頼してきちんと管理されていたので、すぐ暮らすイメージがわきました。町内の中心から距離があるのも好ましかったです。

- 夫の実家を立て直すことに決まった（以前の家が古くて寒いので）
- 土地が安く、保育園も近かった為。
- 実家に帰ってきたので苦労しませんでした
- 特になし
- 自分の土地があったため、そこに家を建てました。
- もっとネットに土地の情報が載っていると嬉しかったです。
- 私、夫の実家のある山形県で探していました。仕事や子育て支援について情報が欲しかったです。今は、実家暮らしです。
- 妻の実家の祖父が介護が必要だった為。
- 一人の稼ぎで生活できるところがなかなか無く、町営も自分の稼ぎ分では入居できなさそうだったので大変だった。借金や色々な支払いで赤字になるくらいでも、年収で見られてしまうので苦労した。社宅は安く入れるので古くても全然いいと思い決めた。
- 夫実家近くでたまたま貸家が空いていたことを夫の父が教えてくれ、入居。子どもの声が気になるので、一軒家など周りの迷惑にならない住宅が必要でした。
- 実家に出戻り
- 実家の敷地内に家を新築したので、住まい探しに不自由はありませんでした。
- 実家の土地があったので、そこに家を建てる事を決めました。

問3 実際に白鷹町で暮らしてみて感じていることについて教えてください。

（移住前と後での白鷹町のイメージの変化、現在の生活での困りごと、移住してよかったこと、白鷹町でお仕事やプライベートでこれからやってみたいこと、定住意向、将来的なライフプラン 等）

- ①移住が決まった段階で前職から解雇されたため、白鷹町内で転職活動をして、今の職場(白鷹内)で働けてよかった
- ②子どもをさくらの保育園に入れられて助かった
- 人の距離が近いため、めんどろに感じます。話しが広まるのが早く感じます。
- ・子育てするのに優しい町だと思うところは良かった(子育て世帯が周りにいること、保育園に入りやすい、無償化)
 - ・子供たちが中学、高校になる頃のライフプラン(白鷹にいるのか)がイメージつかない
 - ・子の将来の選択肢が少ない
 - ・交通の便悪い
- これからも白鷹町で生活していく予定です。もっと川西地域の利便性が向上すれば嬉しいです。今は良いですが、将来年を重ねた時に買物やゴミ出しで困る時がくるかもしれないなあと感じます。
- ・静か、おだやかなイメージ。
 - ・土地があるがお金にもならず、何か建てるでもなく、どうしようかなーと思っている。
 - ・移住してよかったこと、助成金がもらえたこと。嬉しい。持ち家があるのでおそろくずつといる。
 - ・不妊治療の助成金があるのはありがたいと思った。他の町や市でそういう取り組みがあることを知って、自分たちの町はどうだろうと思って調べたら出てきたので活用するつもり。他の市の人に言うと「いいなー」と言われたこともあった。

転入者アンケート集計結果

- いいところだな～と思います。保育料や給食費が無料が助かった！！ランドセルももらえてよかったです！！（他の市町村の人からうらやましがられます！）
- ・環境（子育て）の良さ。
 - ・子供の活動範囲が広がり（中・高生）自分での移動手段が確保できない。（熊問題・フラワー便数・活動の制限・子供の減少・少なさ）
- お店がたくさんあって便利です。いろんな給付もあり助かっています。
- 出身者でありイメージの範囲内
- 町役場で引っ越し手続きをしてもらっている時に、親切にわかりやすく教えてもらえました。
- ・白鷹に移住した、というより中山地区に移住したと感じるようになりました。地区内のつながりが強く、助けられながら暮らしています。
 - ・荒砥にスーパーやホームセンター等まとまって在り、生活しやすいと思います。
 - ・一日のうち何度も眼にする景色、空の広さ、季節それぞれの美しさに心が満ちます。
 - ・寒さは厳しいものですが、風の通る心地よさ、山岳性の天気的神秘的な美しさも大きな魅力です。
 - ・近所の方、町の方、よく気に掛けて声をかけてくださり、楽しみや必要な知識など伝えていただき安心や温かさに力づけられています。
 - ・町の規模が程よいと思いました。知り合いも知らない人もほどほどにいる。
- 地域のお祭りやイベントが多いことにおどろきました。小児科や産科がないことは困りました。
- 買物に行くのがすこし遠いところが多い、自然が多い、子どもに優しい感じがする
- 小児科があると有難いです、又、にこボートの他にも室内型の子供が遊べる施設やプールがあるといいなと思います。
- 現在長井市に勤めているが、町内で働きたい
- 特になし
- ・病院が少ない、小児科がない、整形外科も→スポーツする小中高生には大変（あるけれど診療時間が限られている）
 - ・小中学生が遊べる所（放課後）がない
- 生まれ育った街なので変化なし
- 地元ならではの安心感があります。移住前に比べ、地域の交流も多くなりました。
- ・子育て支援が充実していて子育てしやすい環境だと思います。
 - ・商業施設がドラッグストア店舗なのでスーパーができるのが嬉しいです。
 - ・住宅ローンが残っていますが白鷹町が消滅可能性自治体に該当しているのが不安です。
 - ・町に小児科がないのも不安です。
- ・自分が子どもの時と違い、大人になってから住んでみると仙台市で暮らしていた時よりも区費や家に集金に来ることが多くてお金がかかる印象です。また、休みの日は地域の行事や集まりが多く、嫌ではありませんが白鷹町での暮らしは想像以上に大変です。私は慣れてしまっていますが、SNS でも田舎の自治会の集金方法が問題視されているので、都会の人に受け入れてもらうのは難しいかもしれません。
 - ・病院が少ないことにも困っています。
 - ・白鷹町、近隣市町に子ども遊び場が多くて助かっています。
- コンビニエンスストアやスーパーに徒歩では行けない。
- 元々見慣れた町ではあったので安心感がありました。色々なイベントもあるし、多くはないけれど

転入者アンケート集計結果

十分な店もあるので戻れてよかったと思います。社宅にいつまでも入れないので、安く借りれる中古物件があるといいとは思っています。(白鷹の中古物件は高いイメージだそうです)

- 勤務先や実家も町内の為、安心感があります。
- 出産を経験して、産後ケア事業を何度か利用しましたが、白鷹町は他市町村より本人負担が少なく、子育て世代に優しいなと感じました。(白鷹は自己負担 1 泊 1500 円ですが、他市町村は 5000 円以上がほとんどでした。) 規模の小さな自治体だからこそ 10 分～15 分くらいで支援センターや役場、スーパーなど生活に必要な移動が可能だと思います。
- 子供の遊び場がない。
- 仕事を探すとき山形市や米沢市の求人ばかりで遠いと思った。
- 《良かったこと等》
 - 子どもたちが両親や地域の人たちからも見守っていただきながら伸び伸びと成長していること。
 - 子どもの送り迎えや残業対応など、両親から子育ての協力を得られていること。
 - 自宅でバーベキューをしたり、自然の中で豊かな時間を過ごしていること。
 - 山形市内の保育園に通っていた時は一緒に遊んでいる友達もよくわからず、運動会や発表会の参加は家族単位だったが、白鷹町では、一緒に遊んでいる友達や親同士のつながりもあり、より子どもの成長や日々の生活を身近に感じることができていること。
 - 白鷹在住ということが初対面の方との会話のきっかけになること。
 - 飲食店が多くないので自炊の機会が増え、山形市内に住んでいた時よりも支出が抑えられていること。
 - 蕎麦屋やイタリア料理店、パレス松風にゴルフの練習場があるなど、今まで知らなかったことに改めて気づくことができたこと。
- 《生活での困りごと等》
 - 次男のクラスの男子児童が次男を含めて 2 名であり、男子児童との付き合い方などが心配 (そもそも子どもが少ない)。
 - 人口が減っているのに地域の役回りの数が変わらないなど、コミュニティを維持するうえで負担が大きくなっている。
 - コミュニティが密であるがゆえに、人間関係が難しい場面がある。
 - 熊との遭遇など、環境変化が心配。
- 子供への支援が多くとても助かっています。

問4 今後の移住者を増やすためのアイデアがあれば、教えてください。

(白鷹町の魅力・特徴、情報発信の方法・対象、必要な移住支援 等)

- ①今のように子育て支援に重点を置いた施策はとてよいで継続してほしい
- ②どうしても金銭的に厳しいので、白鷹町内で使える地域クーポンをもっと増やしてほしい
- 祭りなどアピールできると思います
- ・住宅支援(一人暮らし、シェア、世帯、それぞれに合った物件を確保することが必要では?)
 - ・検索してすぐ出てこない。情報発信のバージョンアップ(SNS、インスタ、Threads、TikTok、HP)
- ・町のホームページをより魅力的なものにする(長井市、遊佐町、金山町のような)
 - ・「マツキドライビングスクールに来られた県外の学生」の第2の故郷となるような取組み。(滞在している間に印象深い人とのふれあい等があれば、将来移住や旅行で白鷹町を選んでくれると思います。)
- ・SNS
 - ・抽象的、全体的な呼びかけよりも具体的な内容が一目でわかると良い。
 - ・どちらかと言うと女性に気に入られるようなことをした方が良いと思う。
- 白鷹出身の若者が家をたてる時助成する
- ・自然を最大限生かす
 - ・空き家を生かす
 - ・県内には町外にも自然はたくさんある。その中で自分たちの自然の魅力は何か集めてみる強い魅力考える PR。ただそこにある自然ではなく、その中で楽しみ方過ごし方の可能性を拓いて伝わりやすいものにしていくことも大事、宝の持ち腐れにならないように。
 - ・長井でいうもうもうの森で何かする合宿、サマーキャンプなど(拡散させるのが上手い人の手を借りて拡げる)
 - ・子供達にとって取組がある外にどれくらい開けているのか
 - ・白鷹町での子供の要はこういうところだと感じる
 - ・こういう環境・場所で子育てしたい、子供に育てほしい
- 商業地にまとまった土地があれば済む人も増えるかも(区画整理など)
- ・魅力を実感するのはくり返し通ってじんわり伝わることでもあると思うので関係人口を増やしていくという地道な努力ではないでしょうか。訪れる機会をつくり体験してもらうような。(お試し住宅・空き家バンクの充実)
 - ・他の自治体と同じ土俵で戦わない。「子育てしやすい環境」はどこ自治体も目指していることなので、同じような方向を目指しても埋もれてしまう。なので極端に振り切ってしまう方向性を出した方がよいと思っています。例えば明石市を超えるほど手厚い制度を整えとか(子育て世代に限らず)利便性を求めている少数派にリーチする(雪国で暮らす、山里で子育てなど)
- 子育て世代を増やすなら小児科や産科は絶対必要だと思います。あと育児で疲れてご飯作りたくない時もあるので、外食できる場所がもっと多いと助かります。
- ・小学校統合→子どもが入学することになったら、1クラスでは少し不安なこともあるかも…。
 - ・子どもの遊び場増加→くるんと・コパルなどがあるので屋外遊びが豊富だといいなあ
- 低所得者の住宅支援や、子供のへのさらなる支援や補助金があると選択の一つになると思います。

- 空き家を購入（リース）して「木」「自然」みたいな白鷹町らしい感じにリノベーション。シェアハウスや、子育て世代に安く貸す→町で子育て→子供も定住→人口増える
- ・小中学生が夏休み、放課後遊べる場を増やす
 - ・公共交通機関をもっと便利にする
- 移住者への支援金はありがたい。
- 移住に対する交付金や家を建てた際の補助金、ランドセルの贈呈などは非常に助かります。今後も継続していただければと思います。
- ・まずは住んでいる人達が町の魅力に気づくことが大切だと思います。そうすれば若者が県外に出ずに活気ある町になるでしょう。
 - ・子供達が小さい頃から白鷹町の歴史や良い部分を紹介するといいと思います。
- SNS を使った発信。SNS を見ていると田舎暮らしを発信しているインフルエンサーに移住について質問している人が多いので、興味のある人はたくさんいるのだと思います。
- ・ジム、プール、温泉が一体となった施設の設定
 - ・就職支援
- 子育て世代の支援が手厚いところを選ぶ人が多いみたいです。（埼玉県とか何かあるらしい）
- ・他市町村のお母さん達とたまに話す機会がありますが、どの市、町の人も「白鷹って保育料無料だよね？」と言われます。元々白鷹町出身の方からは「白鷹町で子育てしたかった。」という言葉もありました。置賜の子育て世帯にはかなり周知されてきているのでは？と感じます。
 - ・なかなか移住にふみきれないのは、勤務地から遠くなる、手頃な住宅の情報がない、などの要因があるのかなと思ったので、そこを解消できればいいのかなと感じました。（個人的な意見です。）
- 2拠点生活を取り入れやすい仕事の推進
- 《プチ移住施設》

いきなり移住するのはハードルが高いと思うので、短期移住ができるような場所などがあると少しハードルが下がるかもしれません。また、同様に、例えば町外・県外の友人を白鷹町に招く場合、なかなか良い手頃な宿泊施設が思い浮かびませんので、こうした人向けにもそうした場所があると便利だと思います。
- 《多様な人の巻き込み》

町内で若い人を見かけるのは、学生の他に、ドライビングスクールの学生の方です。こうした人が移住することはないと思いますが、白鷹町と関わったという記憶が、関係人口として白鷹町と関わり続けてもらえるきっかけになるかもしれないと思いますので、ドライビングスクールの学生などに対する取組なども良いのではないかと思います。
- 移住者への支援金について家を建てる時になって初めて知ったので、もっと大々的に宣伝してもいいと思いました。

■その他、白鷹町の移住・定住施策について、ご意見があればお聞かせください。

(移住希望者に「白鷹町に住みたい」と思わせるためのアイデア 等)

- 経済的支援、税制的な優遇(子育て世帯)
- 自然が好きで、静かに暮したい人向けだと思います
- ・ 3泊4日程度のお試し移住体験(スケジュール全てコーディネートする)
 - ・ 荒砥高校生や専修学校生をターゲットにした、卒業～町内でのアパート探しの過程に対する取り組み
 - ・ 人が集まる所で白鷹をPRする(東陽の里、ソフトボール場に来る町外の人にむけて)
- ・ 鮎貝に小学生以下の子どもがいる家庭は無料?で借りられる住まいがあるが、こういうものは口コミとしてよく外から来た人に言いたくなる。
 - ・ 全くの外部の人が何を思って白鷹に興味を持ってくれるかはわからないので、白鷹にいる人がこういう取り組みを知って外の人におしゃべりしてもらえれば広まるのではないか。
 - ・ 「無料」よりも「助成」がいい。価値を感じられる(個人的に)。
- 移住者に対しては10年以上すめばその土地と家をあげる
- ・ 個人的な意見としては、荒砥に住むなら山形市に住むことを選ぶかなと思う。利便性を求めるなら市内に住んだ方が良いから。店もたくさんあるし買い物も便利。ただ実家が白鷹町で郊外にあり、子育ての観点から近場の荒砥を選ぶ、職場の関係から選ぶなどが実際のところ多いのだろうと思う
 - ・ 白鷹の魅力は人と自然にあると思う。自然の中での暮らしを望む人とマッチングさせてもらえるようなPRが重要だと思う。自然の中での遊び場、1人ひとりの声、移住した人が感じる白鷹の自然の素晴らしさの声。
 - ・ 山形市と隣り合っている地域であるのに電車通ってない。バスの本数極端に少ない、バス代高い。もっと気軽に山形市との往来ができるようになれば自然の中でのゆったりとぜい沢な暮らしに利便性も加わり理想的な暮らし方の幅が広がると思う
- 出社へのアプローチの工夫
- 近隣の市町村との差別化は目指さない

白鷹町周辺の市町村との差異を探すと、紅花や鮎とか観光資源であって、日々の生活に関わってくる違いはあまりないと思います。また、僕たちもそうでしたが、白鷹町に絞って探したわけではありません。そこでたまたま条件の合う家が見つかったから白鷹になったのです。もし家が見つければ、朝日町や飯豊町に住んでいたかもしれません。(いまは白鷹で良かったと思っていますし、こういうことを縁というんだと思いますが) そういう人も多いと思うので、広く置賜地区はこういう特色があって、こういった暮らしができますと伝えながら、山形県・置賜のことを知ってもらいながら、白鷹町のことも興味をもってもらえたら嬉しいくらいのスタンスでいいような気がしています。同じ土俵で戦っても不利な条件が多いわけですし。
- 色んな施策を、住んでいるからか情報誌で得ることが多い。もっとインターネットを活用すると若者も見られるのではないのでしょうか…?
- 働く場所・不便でない程度の店がある、、現状年をとって7、80代位になると車が運転できなくなった後、住み続けるのがとても困難に思う。赤ちゃんから老人まで、健康で生活に困ることがない町であれば移住定住しやすいかも。

転入者アンケート集計結果

- 保育料無償、ランドセル無償だけが子育てに優しいのではなく、子育てはその後の方が大変です。乳幼児、小学校低学年後も子育てしやすい環境があれば…と思います。
- 全ての園児について、保育料無償化は素晴らしいと思います。移住のきっかけになったり、検討する要因になっている方を見たことがあります。
- 都会から週末移住や、別荘をつくって来てもらい、町の良さを知ってもらい将来的に住みたいと思わせるといのはどうでしょうか？いきなり移住はハードルが高いのでまずは、体験してもらくらしいの気持ちで人を呼びこめるといいと思います。←これをインフルエンサーに体験してもらい、発信してもらおう。
- ・新築建売り住宅を移住希望者限定で少しお安く販売する。
 - ・子育てをしている方で、親族がいない土地での暮らしは厳しいです。産前・産後のサポートや子どもを気軽に預けられる環境や支援があるといいです。
- 長井市にある『くるんと』のような遊べる施設の設立。
- マクドナルドみたいなファーストフード店一つあれば変わるかも。最短で南陽市しかないです。
- ・一箇所に様々な店舗が集約されているヨークタウン的な施設があったら住みよいなと思います。子どもが産まれてから店舗ごとにチャイルドシートの乗せ下ろしするのが手間だということを知りました。（スーパー行ってドラッグストア行って、銀行寄って…も結構大変なんですね。）
 - ・子育て支援住宅を何年以上住みつづけたら買い取れるとか、空き家に賃貸したあと気に入ったら購入とかの住宅支援があれば良いなと思います。
 - ・安定した企業の誘致。移住したい、Uターンしたいと思っても勤務先がないとなかなか実行できないと思います。家族がいればなおさら給料面や休暇を重視する為、安心して勤める事が出来る企業があれば良いなと思いました。（現在ある中小企業の福利厚生の実質化や給料 UP も大事だと思います。） 東北部品が工場閉鎖と聞いたので、いつか別の企業を跡地に誘致するなど。
- 子育て世代を呼ぶなら室内遊び場必須。シニア世代に楽しんでもらうために交流や習い事の充実。
※同じ時期に3つアンケートが届いた。もっといろんな人に送ってほしい。
- 私自身は白鷹町出身なので、地元知り合いも多く、良いこと、悪いこと、両面でたくさんの方から声をかけていただきました。温かい言葉をかけてくださる方がたくさんいる一方で、「なんでわざわざこんなところに戻ってきたの？」とか、「ここら辺はもう人いねくなるよ」などという言葉もありました。様々困難もありますが、私と妻は、白鷹町には白鷹町の良さがあり、自分の子どもたちにはその良さを少しでも伝えられるように、自分たちが白鷹町に住むことを楽しもうと決めています。親の言葉や言動というのは子どもたちの発育に大きな影響を与えると思うので、親が白鷹町を肯定的にとらえることができれば、自ずと子どもたちもそのように思うのではないかと考えます。移住者を増やすということではありませんが、もし自分が別の地域に移住すると考えると、地域への肯定感が高い人が多くいる地域というのは、やはり魅力的だと思います。

転入者アンケート集計結果

※最後に、ご協力いただける方には、ご回答いただいた内容についてさらに詳しくお話をお聞きできればと考えています。ご意向についてお答えください。(聞き取りは本年度の10月～11月頃の間で、改めて日程・時間についてご連絡をさせていただく予定です。)

- | | | |
|---------------|----------------|----------|
| 1. 聞き取りは遠慮したい | 2. オンラインであれば可能 | 3. 対面で可能 |
|---------------|----------------|----------|

質問は以上です。

お忙しいところご協力いただき、誠にありがとうございました。

調査票への回答が済みましたら、

本調査票を同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

9月22日（月）までに郵便ポストに投函してください。

企業アンケート集計結果

問1 貴社の主たる業種をお選びください。

(単数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	建設業	3	12.0
2	製造業	14	56.0
3	運輸業、郵便業	2	8.0
4	卸売業、小売業	2	8.0
5	宿泊業、飲食サービス業	0	0.0
6	医療、福祉	1	4.0
7	教育、学習支援業	0	0.0
8	金融業、保険業	0	0.0
9	サービス業（他に分類されないもの）	2	8.0
10	その他（ ）	1	4.0
	不明・無回答	0	0.0
	N（%ベース）	25	100

問2 貴社の代表者様の年代をお選びください。

(単数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	30代以下	0	0.0
2	40代	5	20.0
3	50代	11	44.0
4	60代	6	24.0
5	70代以上	3	12.0
	不明・無回答	0	0.0
	N（%ベース）	25	100

問3 貴社の従業員規模をお選びください。（パート・アルバイト等を含む総人数）

(単数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	4人以下	0	0.0
2	5～19人	5	20.0
3	20～49人	7	28.0
4	50～99人	7	28.0
5	100人以上	6	24.0
	不明・無回答	0	0.0
	N（%ベース）	25	100

問4 貴社の全従業員に占める女性従業員の比率をお選びください。

(単数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	3割未満	9	36.0
2	3割～5割未満	7	28.0
3	5割～7割未満	6	24.0
4	7割以上	3	12.0
5	女性従業員はいない	0	0.0
	不明・無回答	0	0.0
	N（%ベース）	25	100

問5 ①女性の採用

(単数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	積極的に進めたい	8	32.0
2	機会があれば進めたい	10	40.0
3	現状を維持したい	5	20.0
4	特に考えていない	2	8.0
	不明・無回答	0	0.0
	N (%ベース)	25	100

問5 ②女性の管理職の登用

(単数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	積極的に進めたい	7	28.0
2	機会があれば進めたい	10	40.0
3	現状を維持したい	4	16.0
4	特に考えていない	4	16.0
	不明・無回答	0	0.0
	N (%ベース)	25	100

問6 貴社における女性のキャリアアップ支援についての取り組み状況をお選びください。

(単数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	必要性を感じており、取り組んでいる	7	28.0
2	必要性を感じているが、十分に組み立てていない	16	64.0
3	必要性を感じないし、取り組んでいない	0	0.0
4	対象者がいない	2	8.0
	不明・無回答	0	0.0
	N (%ベース)	25	100

問7 そのように回答した理由を教えてください。

(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	育児のための仕組みや研修等のノウハウが不足している	3	13.0
2	本人が現状以上の活躍を望まない	10	43.5
3	管理職の指導力不足	9	39.1
4	出産・育児と両立できる体制・制度が不十分	1	4.3
5	その他 ()	4	17.4
	不明・無回答	1	4.3
	N (%ベース)	23	100

問8 過去3年間における、育児休業・介護休業の取得実績をお選びください。

(単数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	育児休業・介護休業ともに取得実績がある	0	0.0
2	育児休業のみ取得実績がある	14	56.0
3	介護休業のみ取得実績がある	0	0.0
4	取得対象となる従業員はいたが、取得実績はなかった	2	8.0
5	取得対象となる従業員がいなかった	9	36.0
	不明・無回答	0	0.0
	N (%ベース)	25	100

問9 従業員が育児休業等を取得した際、業務をどのように対応（カバー）していますか。

(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	周囲の従業員で業務を分担した	17	68.0
2	代替要員（正社員・契約社員）を採用した	4	16.0
3	代替要員（パート・派遣社員）を雇用了	2	8.0
4	業務内容やフローを見直し、省力化した	4	16.0
5	特に具体的な対応はしていない	0	0.0
6	その他（ ）	0	0.0
7	休業実績がないため、わからない	6	24.0
	不明・無回答	1	4.0
	N（%ベース）	25	100

問10 ①現在取り組んでいること

(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	育児休業制度	20	80.0
2	短時間勤務制度	16	64.0
3	フレックスタイム制度	2	8.0
4	テレワーク・在宅勤務制度	2	8.0
5	子の看護休暇制度	14	56.0
6	企業内保育所	0	0.0
7	ベビーシッター等の利用補助	0	0.0
8	男性の育児休業	13	52.0
9	特にない	3	12.0
	不明・無回答	1	4.0
	N（%ベース）	25	100

問10 ②今後取り組みたいこと

(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	育児休業制度	2	8.0
2	短時間勤務制度	4	16.0
3	フレックスタイム制度	5	20.0
4	テレワーク・在宅勤務制度	3	12.0
5	子の看護休暇制度	2	8.0
6	企業内保育所	0	0.0
7	ベビーシッター等の利用補助	1	4.0
8	男性の育児休業	8	32.0
9	特にない	6	24.0
	不明・無回答	7	28.0
	N（%ベース）	25	100

問11 そのように回答した理由を教えてください。

(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	人手不足のため、子育て中の社員の仕事のカバーが難しい	1	33.3
2	専門的・属人的な業務が多く、子育て中の社員のカバーが難しい	1	33.3
3	社内の制度が不十分(短時間勤務、テレワーク等)	0	0.0
4	残業時間を含め、労働時間が長く、子育て中の社員が時短勤務をしづらい	0	0.0
5	社内(役員・管理職・同僚)の理解が十分ではない	0	0.0
6	特に課題はない	1	33.3
7	その他()	1	33.3
	不明・無回答	0	0.0
	N (%ベース)	3	100

問13 従業員の働きやすい環境を整備していく上で、白鷹町にどのような支援を望みますか。

(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	両立支援に関する助成金・補助金制度の拡充	16	64.0
2	先進的な取り組みを行う企業への表彰やPR支援	2	8.0
3	専門家(社会保険労務士等)による相談会の開催	1	4.0
4	町内企業間の情報交換会やセミナーの開催	5	20.0
5	病児保育や延長保育等、多様な保育サービスの充実	9	36.0
6	若者や女性のUIターンを促進する就職支援	9	36.0
7	その他()	1	4.0
	不明・無回答	1	4.0
	N (%ベース)	25	100

問14 貴社が「地域の一員」として、地域の子育て支援のために取り組んでみたいことをお選びください。

(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	子どもたちの職場体験や工場見学の受け入れ	16	64.0
2	従業員による地域での出前授業や講師派遣	3	12.0
3	地域のお祭りや子ども向けイベントへの協賛・協力	12	48.0
4	子ども食堂等への食材提供や運営協力	3	12.0
5	企業敷地内(駐車場、会議室等)の地域活動への開放	5	20.0
6	具体的に取り組むことは難しい	4	16.0
7	その他()	0	0.0
	不明・無回答	0	0.0
	N (%ベース)	25	100

問15 今後、白鷹町が企画する子育て支援や女性活躍推進に関する事業(セミナー、情報交換会等)について、ご協力・ご参加いただけますか。

(単数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ぜひ協力・参加したい	1	4.0
2	内容によっては協力・参加したい	13	52.0
3	他の企業の取り組み事例等の情報収集として参加したい	4	16.0
4	協力・参加は難しい	7	28.0
	不明・無回答	0	0.0
	N (%ベース)	25	100